

目 次

カリキュラム（年間計画）	1
講師別カリキュラム時間表	2

1. 基礎分野

論理学	5
文化人類学	6
教育学	7
人間工学	8
情報科学	9
家族と社会学	10
心理学	11
人間関係論	12
国際関係論	13
カウンセリング論	14
スポーツレクレーション	15
中国語	16
英会話	17
医療英語	18

2. 専門基礎分野

解剖生理学Ⅰ	19
解剖生理学Ⅱ	20
解剖生理学Ⅲ	21
生化学	22
栄養学	23
病理学	24
疾病論Ⅰ	25
疾病論Ⅱ	26
疾病論Ⅲ	27
疾病論Ⅳ	28
疾病論Ⅴ	29
薬理学	30
微生物学	31
社会福祉	32
看護関係法令	33

公衆衛生学	34
総合医療論	35

3. 専門分野Ⅰ

基礎看護学概論	37
看護理論	38
看護研究Ⅰ	39
生活援助技術Ⅰ	40
生活援助技術Ⅱ	41
看護共通技術Ⅰ	42
看護共通技術Ⅱ	43
看護共通技術Ⅲ	44
診療の補助技術	45
臨床看護総論	46

4. 専門分野Ⅱ

成人看護学概論	47
成人看護学方法論Ⅰ	48
成人看護学方法論Ⅱ	49
成人看護学方法論Ⅲ	50
成人看護学方法論Ⅳ	51
成人看護学方法論Ⅴ	52
老年看護学概論	53
老年看護学方法論Ⅰ	54
老年看護学方法論Ⅱ	55
老年看護学方法論Ⅲ	56
小児看護学概論	57
小児看護学方法論Ⅰ	58
小児看護学方法論Ⅱ	59
小児看護学方法論Ⅲ	60
母性看護学概論	61
母性看護学方法論Ⅰ	62
母性看護学方法論Ⅱ	63
母性看護学方法論Ⅲ	64
精神看護学概論	65
精神看護学方法論Ⅰ	66
精神看護学方法論Ⅱ	67
精神看護学方法論Ⅲ	68

5. 統合分野

在宅看護概論	69
在宅看護方法論Ⅰ	70
在宅看護方法論Ⅱ	71
看護管理	72
医療安全	73
災害看護学・国際看護学	74
看護研究Ⅱ	75
統合看護技術	76

カリキュラム(年間計画)

教育内容	教科目	単位 数	時間 数	1年次		2年次		3年次									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期								
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数								
基礎分野	科学的思考 の基盤	論理学	1	30													
		文化人類学	1	15	1	15											
		教育学	1	30		1	30										
		人間工学	1	30	1	30											
	人間と生活・ 社会の理解	情報科学	1	30		1	30										
		家族と社会学	1	30		1	30										
		心理学	1	15	1	15											
		人間関係論	1	30		1	30										
		国際関係論	1	15		1	15										
		カウンセリング論	1	15			1	15									
専門基礎分野	人体の構造 と機能	スポーツレクリエーション	1	30		1	30										
		中国語	1	15			1	15									
		英会話	1	15		1	15										
		医療英語	1	30			1	30									
	疾病の成り立ちと 回復の促進	単位計	14	330	4	90	7	180	2	30	0	0	0				
		解剖生理学Ⅰ	1	30	1	30											
		解剖生理学Ⅱ	1	30	1	30											
		解剖生理学Ⅲ	1	30	1	30											
		生化学	1	30		1	30										
		栄養学	1	30		1	30										
専門分野Ⅰ	健康支援と 社会保健制度	病理学	1	15	1	15											
		疾病論Ⅰ	2	45	2	45											
		疾病論Ⅱ	2	45	2	45											
		疾病論Ⅲ	1	30		1	30										
	基礎看護学	疾病論Ⅳ	1	30		1	30										
		疾病論Ⅴ	1	30		1	30										
		薬理学	1	30			1	30									
		微生物学	1	30		1	30										
		社会福祉	2	45			2	45									
		看護関係法令	1	15		1	15										
専門分野Ⅱ	基礎看護学	公衆衛生	1	30		1	30										
		総合医療論	2	30	2	30											
		単位計	21	525	10	225	8	225	3	75	0	0	0	0			
		基礎看護学概論	1	30	1	30											
	基礎看護学	看護理論	1	15			1	15									
		看護研究Ⅰ	1	30					1	30							
		生活援助技術Ⅰ	2	45	2	45											
		生活援助技術Ⅱ	2	45	2	45											
		看護共通技術Ⅰ	2	45	2	45											
		看護共通技術Ⅱ	1	30	1	30											
専門分野Ⅲ	基礎看護学	看護共通技術Ⅲ	1	30			1	30									
		診療の補助技術	1	30		1	30										
		臨床看護総論	1	30		1	30										
		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅳ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
				単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅴ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅵ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅶ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅷ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅸ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅹ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅺ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅻ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅼ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅽ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野Ⅾ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
		専門分野Ⅿ	基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計	16			465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ		1	45		1	45										
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90							2	90					
	単位計		16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
	専門分野ⅰ		基礎看護学	単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0
				基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45								
				基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90			
単位計		16		465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0		
基礎看護学		基礎看護学実習Ⅰ	1	45		1	45										
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90							2	90					
		単位計	16	465	8	195	3	105	2	45	3	120	0	0	0</		

講師別カリキュラム時間表

教育内容		教科目	単位数	時間数	講師名	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤	論理学	1	30	末吉 康幸	30					
		文化人類学	1	15	尾堂 修司	15					
		教育学	1	30	白石 義郎		30				
		人間工学	1	30	山本 耕之	30					
		情報科学	1	30	城戸 幸一		30				
	人間と生活・社会の理解	家族と社会学	1	30	中西 吉則		30				
		心理学	1	15	石田 有紀	15					
		人間関係論	1	30	江藤 智佐子		30				
		国際関係論	1	15	古賀 幸久		15				
		カウンセリング論	1	15	松田 輝美			15			
		スポーツレクリエーション	1	30	永山 寛		30				
		中国語	1	15	沈 震			15			
		英会話	1	15	下坂 章次		15				
		医療英語	1	30	神代 良子				30		
		単位・時間合計	14	330		90	180	30	30	0	0
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1	30	木戸田 朋子	30					
		解剖生理学Ⅱ	1	30	嵯峨 堅	30					
		解剖生理学Ⅲ	1	30	嵯峨 堅	30					
		生化学	1	30	佐藤 秀明 杉島 正一 原田 二朗 塚口 舞		8 10 8 4				
		栄養学	1	30	平山 貴恵 鶴久 直美 小西 亜也加 伊藤 真理 作間 理恵子		10 4 6 4 6				
		病理学	1	15	西田 直代	15					
		疾病論Ⅰ	呼吸器	2	45 (48)	宮川 洋介	18				
						川崎 友裕	4				
						吉戒 勝	2				
						梅地 恭子	2				
		循環器				折田 義也	4				
						福岡 良太	2				
						小此木 太一	2				
						平井 敬佑	2				
		血液・造血器				古賀 久士	4				
						佐藤 久	2				
						南野 隆一	6				
						中村 弘毅	4				
		消化器		2	45	高尾 貴史	4				
						宇治 祥隆	4				
						御厨 邦子	4				
						佐保 博美	2				
		内分泌・代謝				當時久保 正之	16				
						奥田 誠也	8				
						徳田 雄治	4				
						二之宮 謙一		4			
	疾病の成り立ちと回復の促進	運動器		1	30	合志 光平		4			
						山本 俊策		2			
						佐々木 大		2			
						牟田口 滋		4			
		脳・神経				一ツ松 勤		4			
						澁谷 統壽		6			
						石堂 克哉		4			
		アレルギー・膠原病・感染症		1	30	宮本 祐一		8			
						菅沼 明彦		6			
						井上 充		8			
						馬場 美樹		2			
		放射線				小野 研		4			
						二子石 直樹		2			
		皮膚		1	30	山口 隆広		8			
						岩田 健作		8			
						御厨 剛史		6			
						豊福 司生		8			
	薬理学			1	30	相部 絹佳			16		
						田中 康照			4		
						樺島 三樹絵			4		
						原田 さやか			6		
	微生物学			1	30	原 好男		16			
						野田 哲寛		14			
						中野 繁広			45		
						松尾 やす子		15			
						的場 恒孝		30			
	健康支援と社会保障制度			2	30	古賀 伸彦	10				
						薬師寺 道明	10				
						林 明宏	10				
		単位・時間合計	21	525		229	225	75	0	0	0

教育内容			教科目	単位数	時間数	講師名	1年次		2年次		3年次		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	1	30	佐藤 和美 下河 富士栄	12 18							
		看護理論	1	15	佐藤 和美ほか			15					
		看護研究Ⅰ	1	30	森 由紀				30				
		生活援助技術Ⅰ	2	45	大久保 純子 宮崎 亜矢子	12 34							
		生活援助技術Ⅱ	2	45	中尾 博美 大久保 純子 一ノ瀬 美津子	16 12 18							
		看護共通技術Ⅰ	2	45	佐藤 和美 一ノ瀬 美津子 大久保 純子	8 26 12							
		看護共通技術Ⅱ	1	30	一ノ瀬 美津子 大久保 純子	14 16							
		看護共通技術Ⅲ	1	30	下河 富士栄			30					
		診療の補助技術	1	30	下河 富士栄 大久保 純子		20 10						
		臨床看護総論	1	30	古賀 千代 大久保 純子 成富 さおり		10 16 4						
	臨地実習	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ	1	45			45					
			基礎看護学実習Ⅱ	2	90				90				
単位・時間合計			16	465		198	105	45	120	0	0		
専門分野Ⅱ	成人看護学		成人看護学概論	1	30	宮崎 亜矢子		30					
			成人看護学方法論Ⅰ	1	30	栗原 幸子 林田 晶子 谷川 新太郎 松雪 友恵			6 6 6 12				
			成人看護学方法論Ⅱ	1	30	池末 直子 宮地 千加子 末安 弥生 宮崎 亜矢子			6 6 6 12				
			成人看護学方法論Ⅲ	1	30	岩本 雅俊 田代 一章 宮崎 亜矢子			14 6 10				
			成人看護学方法論Ⅳ	1	30	山下 千里 成富 耕治 松雪 友恵				6 10 14			
			成人看護学方法論Ⅴ	1	30	一瀬 理加 下村 直子 松雪 友恵				10 8 12			
	老年看護学		老年看護学概論	1	30	真田 洋子			30				
			老年看護学方法論Ⅰ	1	30	真田 洋子			30				
			老年看護学方法論Ⅱ	1	30	堀下 友行 真田 洋子				20 10			
	小児看護学		老年看護学方法論Ⅲ	1	15	真田 洋子				15			
			小児看護学概論	1	30	西 恵美子			30				
			小児看護学方法論Ⅰ	1	30	西 恵美子			30				
			小児看護学方法論Ⅱ	1	30	武谷 茂				8 22			
	母性看護学		小児看護学方法論Ⅲ	1	15	西 恵美子				15			
			母性看護学概論	1	30	平川 静江			30				
			母性看護学方法論Ⅰ	1	30	森 真澄			30				
			母性看護学方法論Ⅱ	1	15	井上 充 愛洲 紀子 斉藤 仲道				6 2 8			
	精神看護学		母性看護学方法論Ⅲ	1	30	森 真澄				30			
			精神看護学概論	1	30	中尾 博美		30					
			精神看護学方法論Ⅰ	1	15	丸山 千春			15				
			精神看護学方法論Ⅱ	1	30	児玉 英嗣			30				
	臨地実習	成人看護学	精神看護学方法論Ⅲ	1	30	中尾 博美				30			
			成人看護学実習Ⅰ	2	90	宮崎 亜矢子				90			
		老年看護学	成人看護学実習Ⅱ	2	90	宮崎 亜矢子					45	45	
			成人看護学実習Ⅲ	2	90	宮崎 亜矢子					45	45	
		小児看護学	老年看護学実習Ⅰ	2	90	真田 洋子				90			
			老年看護学実習Ⅱ	2	90	真田 洋子					45	45	
		母性看護学	小児看護学実習	2	90	西 恵美子					45	45	
			母性看護学実習	2	90	森 真澄					45	45	
	精神看護学	精神看護学実習	2	90	中尾 博美					90			
		単位・時間合計			38	1320		0	60	315	406	315	225
統合分野	在宅看護論		在宅看護概論	1	15	池田 敦子			15				
			在宅看護方法論Ⅰ	2	45	池田 敦子			45				
			在宅看護方法論Ⅱ	1	30	池田 敦子				30			
	看護の統合と実践		看護管理	1	15	佐藤 和美 田中 圭子 塚本 珠文					12 2 2		
			医療安全	1	30	下河 昇一 松雪 友恵 山崎 宏美					20 10 8		
			災害看護学・国際看護学	1	30	松雪 友恵					8 14		
			看護研究Ⅱ	1	15	森 由紀 一ノ瀬 美津子					6 10		
			統合看護技術	1	15	松雪 友恵 西 恵美子						15	
			臨地実習	在宅看護論	在宅看護論実習	2	90	池田 敦子				45	45
				看護の統合と実践	看護の統合と実践実習	2	90						90
	単位・時間合計			13	375		0	0	60	30	135	150	
	総単位・時間合計			102	3015								

基礎分野

分野:基礎分野 科目:論理学 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	末吉康幸	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	合理的な思考の規則を学び、他者の考えを理解し、自分の考えを論理的に組み立て自己表現できるように論理の力を身につける。				
到達目標	1. 論文・レポートを書く基礎的法則を知り文書構成ができる 2. 他者の考えを聞き、自分の考えを表現し議論することができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	両立可能性、対立、否定	講義		末吉
	2	全象、特称、ド・モルガンの法則	講義		末吉
	3	全象、特称、ド・モルガンの法則、多重量化	講義		末吉
	4	練習問題、条件構造	講義・演習		末吉
	5	演繹的論証Ⅰ	講義・演習		末吉
	6	練習問題	講義・演習		末吉
	7	演繹的論証Ⅱ	講義・演習		末吉
	8	練習問題	講義・演習		末吉
	9	練習問題、論証の構造	講義・演習		末吉
	10	論証図式、練習問題	講義・演習		末吉
	11	論証の評価Ⅰ	講義・演習		末吉
	12	論証の評価Ⅱ	講義・演習		末吉
	13	論証の評価、練習問題	講義・演習		末吉
	14	論証の評価、練習問題	講義・演習		末吉
	15	試験	講義		末吉
使用テキスト等	テキストは使用しない。プリントを配布する。				
主たる参考図書・文献	野矢茂樹 『論理トレーニング』【産業図書】				
評価方法	筆記試験				
学生へのメッセージ	規則を学ぶには、何が間違いであるかを自覚することが必要です。したがって、練習問題等の課題には積極的に取り組んで、自分の間違いを自覚するようにしてください。				

分野:基礎分野 科目:文化人類学 【1単位:15時間 授業回数:8回】					
担当教員	尾堂 修司	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	比較文化研究でもある文化人類学において、従来の欧米と日本のみの関係性でなく、韓国や中国との比較の視点も学び、伝統や現代の身近なテーマを見ながら、文化を多角的に考察する。				
到達目標	東アジアの文化や思想を理解するために不可欠な儒教・仏教・道教の関係と歴史を概観し、各国の異同を再確認する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	文化人類学とはー比較文化とシンクレティズムについて	講義	テキスト1章の予習	尾堂
	2	かばいあう親子の泥棒	講義	2章の予習	尾堂
	3	翼をなくした天女	講義	3章の予習	尾堂
	4	孝との調和と相克	講義	4章の予習	尾堂
	5	福祿寿・呪殺	講義	5章の予習	尾堂
	6	死生観・あの世	講義	8章の予習	尾堂
	7	東アジアの思想空間	講義	9章の予習	尾堂
	8	終講試験	試験		尾堂
使用テキスト等	菊池章太『儒教・仏教・道教 東アジアの思想空間』【講談社選書メチエ】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験・受講態度など総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野:基礎分野 科目:教育学 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	白石 義郎	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護師になるための患者理解の方法と医学・看護学の学習のスキルを学ぶ				
到達目標	1. 患者理解ができ患者とのコミュニケーションができるようになる。 2. 学習スキルを使って医学・看護学を学ぶことができる。 3. 国試に対処できるようになる。 4. ポートフォリオで学習を定着できるようになる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	患者理解、学習スキル、国試対策	講義 GW		白石
	2	母子への看護支援:「看護師は母になりかわることはできません」	講義 GW	国試の予習	白石
	3	幼い子どもへの看護支援:基本的信頼	講義 GW	国試の予習	白石
	4	思春期の成長:「千と千尋」の成熟神話	講義 GW	国試の予習	白石
	5	青少年期の成長:「ドラえもんだけではおとなになれない」	講義 GW	国試の予習	白石
	6	青少年期の看護支援	講義 GW	国試の予習	白石
	7	オトナへの社会化:「カワイイの王国」	講義 GW	国試の予習	白石
	8	老人への看護支援:「老いる人々」	講義 GW	国試の予習	白石
	9	死にゆく人々:「先生、私もうだめでしょうか」	講義 GW	国試の予習	白石
	10	看護師の学習(1):患者の権利の学び方	講義 GW	国試の予習	白石
	11	看護師の学習(2)看護レポートの書き方	講義 GW	国試の予習	白石
	12	看護師の学習(3):診断学の学び方	講義 GW	国試の予習	白石
	13	看護師の学習(4):「ドクターG」	講義 GW	国試の予習	白石
	14	看護師の学習(5):コレラの発見	講義 GW	国試の予習	白石
	15	まとめ:看護師へのロマンの結晶化	講義 GW	テスト準備	白石
使用テキスト等	プリント配布				
主たる参考図書・文献	講義のなかで紹介します				
評価方法	授業への積極的な参加 30% 小テスト 30% レポート 40%				
学生へのメッセージ	学習力を高めるために、短い文を書いてもらいます。				

分野:基礎分野		科目:人間工学		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】		
担当教員	山本耕之		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護動作をヒトの筋肉骨格の運動として見る方法を学ぶ。看護現場で起こる事の筋道の解釈、及び解決法の見出し方、事故防止法について学ぶ。					
到達目標	1. 人間工学の基礎的概念と看護学との関係性について説明できる 2. 人の動作に必要な機能の特性がわかる 3. 人間工学を応用した患者介助法がわかる					
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当
	1	人間工学歴史・源流 ハード・ソフトウェアとは		講義 演習		山本
	2	報告、研究、改善の手法、KJ法の応用 医療制度、行政の方向と症例乖離		講義 演習		山本
	3	五感、センサー センサーの種類 センサーの変換内容、圧力、血圧測定原理		講義 演習		山本
	4	制御、する—とうまくいくで説明 遅れ(反応の)、フィードバック フィードフォワード事例を事例と供に説明		講義 演習		山本
	5	ヒトの運動、回転運動、直線運動 各部と関節、リンク・ジョイント、筋肉と骨の密着		講義 演習		山本
	6	圧力、血圧測定原理、力学の基礎		講義 演習		山本
	7	図式力学の基礎、ベクトル、三力の均りあい		講義 演習		山本
	8	モーメント ⁽²⁾ テコ、滑車、棚上ボタモチの反力 バット回転、八重さん体位変換・モーメント応用		講義 演習		山本
	9	図式力学 ⁽³⁾ 2力平行でない場合の合成均り合い 3力の合成、4力均り合い		講義 演習		山本
	10	図式力学 ⁽⁴⁾ 連力図 非平行多力の合成 平行多力の合成		講義 演習		山本
	11	ボディメカニクス、力＝質量×加速度 運動と床反力、支持基底面と重心(命)		講義 演習		山本
	12	ボディメカニクス、力と慣性力と床反力 姿勢の力学、持ち上げの力学、生体材料特性		講義 演習		山本
	13	支持基底面、看護の安全、事故防止 フルプルーフ・フェイルセーフ、看護リスク 過誤、ハインリッヒの法則		講義 演習		山本
	14	ME機器、安全の見方、バリアフリー ユニバーサルデザイン、フィードバック ノーマライゼーション		講義 演習		山本
	15	人間工学の概容の要点のまとめ 力学(静・動力学)、制御・5感・KJ法		講義 演習		山本
使用テキスト等	看護の環境と人間工学【サイオ出版】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	筆記試験、演習状況、レポートなどから総合的に評価する					
学生へのメッセージ						

分野:基礎分野		科目:情報科学		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回		】					
担当教員		城戸幸一		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		情報化社会の進歩に伴い情報処理の基本的な考え方、情報処理システムの医療機関への応用、医療、看護データの処理について学ぶ。											
到達目標		1. 医療従事者として情報科学やコンピューターに関する基礎知識を身につける 2. 情報処理の方法と結果を解釈する力をつけ、パソコンの活用、看護研究に活かす											
授業計画		回	授業内容				授業方法		事前学習等		担当		
		1	Googleの活用、アカウントの登録と設定についての学習				講義 演習				城戸		
		2	Wordの基本、文字入力の方法、設定方法 Gmailを使った提出方法について				講義 演習				城戸		
		3	word文字構成について				講義 演習				城戸		
		4	Wordの構成 図形の形を作成する				講義 演習				城戸		
		5	Wordの活用 smart、Art系の学習				講義 演習				城戸		
		6	Excel 基礎、関数				講義 演習				城戸		
		7	Excel 基礎、関数2				講義 演習				城戸		
		8	Excel グラフ作成				講義 演習				城戸		
		9	Excel 総合				講義 演習				城戸		
		10	Power point 基礎				講義 演習				城戸		
		11	Power point 基礎 情報リテラシー				講義 演習				城戸		
		12	情報科学概論				講義 演習				城戸		
		13	Word テスト				講義 演習				城戸		
		14	Excel テスト				講義 演習				城戸		
		15	復習				講義 演習				城戸		
使用テキスト等		系統看護学講座 別巻 看護情報学【医学書院】 医療従事者のための情報リテラシー【日経BP社】											
主たる参考図書・文献													
評価方法		筆記試験、演習レポートなどから総合的に評価する											
学生へのメッセージ		情報の価値を理解し、適正かつ的確に利用する重要性について学びます。また、最低限の情報処理として自ら考え実践できる、Word、Excelの使い方の基礎を学習します。											

分野:基礎分野		科目:家族と社会学		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回		】			
担当教員		中西 吉則		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義 演習	
授業の概要		人間の社会的側面の基本的な概念を学修し、看護社会的なものの見方・考え方を学ぶ。人間生活の基礎的単位である家族が果たす社会における役割や機能について理解する。									
到達目標		1. 社会学の基礎概念を理解する 2. 健康・病気と社会がどのようにかわっているか理解する 3. 人間生活の基盤としての家族および家族の人々の関係を理解する 4. 現代家族が直面する課題を理解する									
授業計画		回	授業内容			授業方法		事前学習等		担当	
		1	社会学的見方:社会が健康に及ぼす影響 健康格差(所得・地域・雇用形態・家族構成)			講義				中西	
		2	医療社会学:健康と病気 ストレスとチャレンジ:失敗学のすすめ			講義		社会と健康・病気とは、どのように関係しているか？		中西	
		3	医療の歴史と生命科学			講義				中西	
		4	患者と医療者との関係、その変化			講義		医療職とそれを取り巻く社会について考えてみる		中西	
		5	医療制度と医療職の変化と問題点			講義				中西	
		6	住まいから見た家族:身近な家族の変容			講義		あなたにとっての家族とは何か？		中西	
		7	家族の基礎知識			講義				中西	
		8	配偶者選択 結婚の意味と変化			講義		どんな家庭が幸せですか？		中西	
		9	夫婦関係の現状と問題点			講義				中西	
		10	親と子: 出産、未開社会の生と死、赤ちゃんポスト			講義		人間って何だろう？		中西	
		11	子育て:母性と父性 親と子どもの社会病理 【ドイツのクリスマス】			講義		子育ての問題点とは何か？		中西	
		12	ジェンダー:労働と女性 離婚と再婚			講義		男と女とは？		中西	
		13	高齢者を取り巻く家族と社会 死生学			講義		高齢化社会とは？		中西	
		14	家族支援のアプローチ			講義		私たちに何ができるのか？		中西	
		15	まとめ			講義		配布プリント再読		中西	
使用テキスト等		プリント									
主たる参考図書・文献		参考資料は開講時に随時紹介する。									
評価方法		筆記試験・受講態度・レポートなどで総合的に評価する。									
学生へのメッセージ		幅広いものの見方を身につけてほしい									

分野:基礎分野 科目:心理学 【 1単位:15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	石田 有紀	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	人間の心理に関する基礎的知識と人間尊重の基盤を学ぶ。また、その学習をもとに自己理解や看護専門職への適応を促す内容とする。				
到達目標	1. 人間の心理に関する基礎知識を修得する 2. 人間心理の諸側面について学習し、自己理解・他者理解を深める				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	学習と記憶の心理学	講義		石田
	2	発達心理	講義		石田
	3	社会・集団の心理	講義		石田
	4	健康の心理と人間関係	講義		石田
	5	臨床心理学の基礎と心理アセスメント	講義		石田
	6	カウンセリングと心理療法	講義		石田
	7	行動する人間の理解	講義		石田
	8	まとめ	試験 まとめ		石田
使用テキスト等	『看護学生のための心理学』第2版 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	DVD ビデオ CDは開講時に随時紹介する。				
評価方法	筆記試験・受講態度・レポート等で総合的に評価する。				
学生へのメッセージ					

分野:基礎分野 科目:人間関係論 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	江藤 智佐子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を含めた保健医療や社会福祉などの援助は、援助を必要とする人たちと、その任にあたる専門職との間の密接な人間関係のうえに成り立っている。仕事を円滑に実践するために必要な対人能力向上のための知識とスキルを身につける。				
到達目標	1. 看護実践において必要となる人間関係を理解する 2. 職場内、職場外での円滑な人間関係形成方法を理解する 3. 人間関係とは何かを知り、適切な対人コミュニケーションの取り方について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	オリエンテーション ー看護師と取り巻く人間関係とはー	講義		江藤
	2	対人関係と役割	講義		江藤
	3	態度と対人行動	講義		江藤
	4	集団と個人	講義		江藤
	5	リーダーシップとチームビルディング	演習		江藤
	6	コミュニケーション(3) アクティブライスニング・コーチング	講義		江藤
	7	コミュニケーション(1)	講義		江藤
	8	コミュニケーション(2)	演習		江藤
	9	コーチング(1)	講義		江藤
	10	コーチング(2)ーアクティブライスニングー	演習		江藤
	11	アサーティブ・コミュニケーション	講義・演習		江藤
	12	保健医療チームの人間関係	講義		江藤
	13	患者を支える人間関係 ー患者・看護師間の相互作用ー	講義・演習		江藤
	14	終講試験	試験		江藤
	15	まとめとリフレクション	講義・演習		江藤
使用テキスト等	長谷川浩編『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版』【医学書院】 小栗かよ子・藤田覚『医療安全のための接遇・クレーム対応実践マニュアル』【一般社団法人 日本看護学校協議会 共済会】				
主たる参考図書・文献	授業内で適宜紹介する。				
評価方法	筆記試験(40%)・受講態度・授業での課題・レポート等(60%)で総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	対人能力を向上させるためには、相手の状況に応じた適切な対人コミュニケーション能力が必要です。授業で学んだことは、日常生活においても実践し、対人能力を高める努力をしてください。				

分野:基礎分野		科目:国際関係論		【 1単位: 15時間		授業回数: 8回		】			
担当教員		古賀 幸久		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義 演習	
授業の概要		・現在国際社会のありのままの姿をみる。 ・国際社会を構成している国家や民族の姿をながめる ・日本と日本人の姿を国際社会の中でとらえる ・私たちの進む方向性について考える									
到達目標		・混沌とした国際社会にも一定の秩序と原則があることを理解する ・国際社会の現象と個人の利害がつながっていることを理解する ・私たちの国際社会の中で生きることの意味について理解する									
授業計画		回	授業内容			授業方法		事前学習等		担当	
		1	世界の無政府状態の中での安定性と不安定性について			講義		アンダーラインの語句を調べておくこと		古賀	
		2	勢力均衡というバランス			講義				古賀	
		3	政治的力と国際法の関係			講義				古賀	
		4	国際的な経済原則に基づく国際社会との係わり			講義				古賀	
		5	民主主義と政治と経済			講義				古賀	
		6	安全保障と戦争			講義				古賀	
		7	国際社会の多様性と共存			講義				古賀	
		8	地域の危機への国家と国際社会の関り			講義				古賀	
使用テキスト等		プリント									
主たる参考図書・文献		授業中に指示する									
評価方法		アンダーラインの語句の説明を軸とした講義レポートを毎回提出する。最終レポートと併せて評価する。講義レポート10点×8、最終レポート20点。									
学生へのメッセージ		個人個人の進む方向性を常に自覚しながら受講すること									

分野:基礎分野 科目:カウンセリング論 【 1単位:15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	松田 輝美	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	話の聞き方や話し方、患者に接するときの表情や態度が、患者の気持ちに影響することを理解する。 心理学や臨床心理学にもとづいたカウンセリングの理論や技術を学ぶ。				
到達目標	1. カウンセリングに関する理論と実践について理解する 2. 体験学修を通してコミュニケーションやカウンセリングに関するスキルを実践的に身につける				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	カウンセリングとは何か 看護職に求められるカウンセリング	講義 演習	悩みを相談する相手に一番求めることを考えてくる	松田
	2	臨床的カウンセリング 危機介入	講義 演習		松田
	3	精神分析療法	講義 演習		松田
	4	来談者中心療法	講義 演習		松田
	5	行動療法・論理療法・認知療法	講義 演習		松田
	6	認知行動療法 グループカウンセリング	講義 演習	グループカウンセリングの利点を考えてくる。	松田
	7	ゲシュタルト療法・交流分析・家族療法	講義 演習		松田
	8	まとめ 試験	まとめ 試験		松田
使用テキスト等	山蔦圭輔 『基礎から学ぶカウンセリングの理論』 【産業能率大学出版部】				
主たる参考図書・文献	小林司・桜井俊子 『看護・介護のための心をかよわせる技術』 【新曜社】 小島通・吉本武史 『ナースだからできる5分間カウンセリング』 【医学書院】 伊藤まゆみ 『看護に活かすカウンセリングⅠ』 【ナカニシヤ出版】				
評価方法	筆記試験及び受講態度で総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	教室で学んだことを職場や実習先、家族・友人など身近な人とのコミュニケーションの場で実際に使っていきましょう。				

分野:基礎分野		科目:スポーツレクリエーション		【 1単位 : 30時間		授業回数 : 15回		】					
担当教員		永山 寛		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		技術的な向上よりも、生涯スポーツへと結びつけ自主的に運動することを心がけてもらえるような種目のスポーツを行う。疾病予防や介護予防に活かすことのできるスポーツレクリエーションの実技を体験する。											
到達目標		1. 最低限必要な体力を養うことや、運動習慣を身につけることの重要性を理解する 2. スポーツを通して交友関係を深め、心身ともに健康な学生生活を送る											
授業計画		回	授業内容				授業方法		場所		担当		
		1	ガイダンス				講義		教室		永山		
		2	体力測定				実技		体育館		永山		
		3	体力測定				実技		体育館		永山		
		4	レクリエーション(体験)				実技		体育館		永山		
		5	レクリエーション(体験)				実技		体育館		永山		
		6	健康づくりのためのジョギング指導				実技		教室		永山		
		7	健康づくりのためのジョギング指導				実技		学内、周辺		永山		
		8	ニュースポーツ(グランドゴルフ)				実技		河川敷公園		永山		
		9	ニュースポーツ(グランドゴルフ)				実技		河川敷公園		永山		
		10	ニュースポーツ(ペタンク・キンボール等)				講義・実技		体育館		永山		
		11	ニュースポーツ(ペタンク・キンボール等)				講義・実技		体育館		永山		
		12	ニュースポーツ(ペタンク・キンボール等)				講義・実技		体育館		永山		
		13	レクリエーション(グループワーク)				講義・実技		体育館		永山		
		14	レクリエーション(グループワーク)				講義・実技		体育館		永山		
		15	まとめ				講義・試験		体育館		永山		
使用テキスト等													
主たる参考図書・文献		DVD ビデオ CD は開講時に随時紹介する。											
評価方法		技術的な優劣よりも運動への積極的な態度や他者への協力姿勢など総合的に評価する。											
学生へのメッセージ		授業態度について： 積極的に活動する(準備 片付けも含めて) スマホなどは必要時以外触らない。 服装について： 特に指定はしないが、運動のできるものを着用する。(ジャージやスウェットなど) ズボンの裾は長すぎないように注意する(見た目の問題だけでなく、安全上の理由から) 体育館利用時は、室内用シューズを準備する 必要に応じて防寒用のウェアや各種ウォーマーを準備する。 ※屋外で活動する際には別途指示します 安全管理について： 金属系の指輪、ピアスは外し、バックの中にしてしまう(ポケットには入れない) ネックレス等は服の中に隠れるものは可。それ以外は外す。 髪が長く、運動の妨げになる場合は結ぶ。 人と接触したりボールや道具を使用したりする場合があるので、爪は伸ばしすぎない。 ポケットに手を入れたまま動かない。 自己の体調管理に努める。必要に応じて水分補給用の飲み物や着替え・タオルを準備する。 貴重品の管理の徹底(紛失に際して責任を負いません)											

分野:基礎分野		科目:中国語		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】			
担当教員	沈 震		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	中国の社会・文化・医療を知るとともに、初歩的な読解力と簡単な会話が理解できる能力を身につける。						
到達目標	1. 中国語で意志伝達をする際に最低限必要な文法を修得する 2. 臨床場面で有用な語彙を学び、同時に意志疎通に本当に必要なことは何かを考える						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	漢字文化の紹介 数字の数え方の紹介		講義		沈	
	2	発音紹介、練習、母音・子音について 声調の発音方法について		講義	単語の予習	沈	
	3	挨拶用語、数字の読み方		講義 演習	単語の予習	沈	
	4	1. あいさつ用語の復習 2. 第1課について		講義 演習	単語の予習	沈	
	5	1. 第2課について 2. 時間の言い方について		講義 演習		沈	
	6	第3課について		講義 演習	テキストを 読み、挨拶 の練習をし てくる	沈	
	7	第5課について		講義 演習		沈	
	8	テスト及びテスト内容の説明		まとめ 試験		沈	
使用テキスト等	初級テキスト 日中いぶこみ広場【朝日出版社】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	筆記試験 ・ 受講態度 ・ レポート等で総合的に評価する。						
学生へのメッセージ							

分野:基礎分野		科目:英会話		【 1単位: 15時間		授業回数: 8回		】					
担当教員		下坂 章次		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		看護に必要な英語の基礎を修得し、国際人として対応できる素地を養う。											
到達目標		1. 自然な会話の中で、語彙を豊かにすると同時に発音や抑揚等を修得する 2. スピーキング能力、リスニング能力、読解力をつけ、患者の方々に適切に対応できるようにする											
授業計画		回	授業内容				授業方法		事前学習等		担当		
		1	◎日常の生活の中で、英語で話しかけられたときの表現方法を身に付ける(P8-10)。さらに医学用語(P42-44)を学習する。				講義 演習		事前予習: 8.9.10.42.43.44		下坂		
		2	◎初診の患者に必要な医学的な処方ができるようにする(P11-18)。さらに医学用語(P34-35)を学習する。				講義 演習		事前予習: 11.12.13.14.15. 16.17.18.34.35		下坂		
		3	◎初診の患者に必要な情報を与えることができるようにする(P22-31)。さらに医学用語(P23)を学習する。				講義 演習		事前予習: 22.23.26.27.28		下坂		
		4	◎患者の症状を尋ねる方法を学習する(P32-37)。さらに医学用語(P51)を学習する。				講義 演習		事前予習: 32.33.34.35.51		下坂		
		5	◎患者の症状がどんな状況で起きたか尋ねる方法を学習する(P40-47)。さらに医学用語を学習する(P42-44)。				講義 演習		事前予習: 40.41.42.43.44		下坂		
		6	◎患者の病歴を尋ねる方法を学習する(P48-50)。さらに医学用語(P51)を学習する。				講義 演習		事前予習: 48.49.50.51		下坂		
		7	◎80秒間、学生2人によるロールプレイ(患者役と看護師役)を通して、実際の場面での英語の対応力を測定する。 ◎会話文に習熟できるように、各課の読みの力を測定する。				試験(読解力・筆記)		試験		下坂		
		8	◎看護師の英語での対応力を測るために医学用語を含む筆記試験を行う。				試験(話す力、聞く力)・筆記(英語を書く力)		試験		下坂		
使用テキスト等		クリスティーンのやさしい看護英会話【医学書院】											
主たる参考図書・文献													
評価方法		筆記試験・受講態度・レポートなどで総合的に評価する。											
学生へのメッセージ													

分野:基礎分野 科目:医療英語 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】					
担当教員	神代 良子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現代社会のグローバル化した国際感覚を身に付け、職業の中で活用できる能力を修得する。				
到達目標	1. 医療・看護に関する英語の知識を修得する 2. 医療・看護を実施するうえでの実践的な英会話を修得する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ナースの仕事を英語で表現 体の名称	講義 演習	単語の予習	神代
	2	患者の名前、電話番号を聞き取る 聞き返し、尋ねるときの英語表現	講義 演習	単語の予習	神代
	3	医療現場で役に立つ表現 ①スタッフの紹介、自己紹介	講義 演習	単語の予習	神代
	4	②診療科をPuzzleを使って英語にする 患者の基本情報を聞き取り、カードに記入	講義 演習	単語の予習	神代
	5	①復習テスト(1) ②診療手続き、症状を尋ねる ③測定単位	講義 演習	単語の予習	神代
	6	①診療手続き、症状→プリント課題 ②症状の表し方 ③ナースと患者の会話並べ替え	講義 演習	単語の予習	神代
	7	①看護師と患者の会話を聞き取る ②診療申込書に英語で書かれた患者の情報を聞きこむ	講義 演習	場面に合わせた例文を 考えてくる	神代
	8	Unit3 場所、時間、備品の説明 病院内の備品を英語で表現	講義 演習		神代
	9	①復習テスト(2) ②Unit3 病院の中の備品を英語で表す	講義 演習		神代
	10	①Bingo Game 病院の備品を英語で表現 ②病名リスト作成	講義 演習		神代
	11	①病名の英語クロスワードパズル ②病歴の聴取、英語の情報を用紙に書き込む	講義 演習		神代
	12	①病歴の聴取 ②これまでの経験を英語で尋ねる	講義 演習		神代
	13	①検査の指示、表現:検査に用いる用語 ②体内器官 テキストP91	講義 演習		神代
	14	①体内器官をVisualでとらえ、英語表現 ②患者の心配事への対応	講義 演習		神代
	15	①終講試験 ②各国の文化や宗教 ③医療行為とイラスト	講義 試験		神代
使用テキスト等	クリスティーンのレベルアップ看護英会話 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	英語文献 CD 参考書は開講時に随時紹介する。				
評価方法	筆記試験・受講態度・レポートなどで総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	医療・看護の分野において英語の必要性は高まっています。積極的に興味をもって取り組んでいきましょう。				

專門基礎分野

分野:専門基礎分野 科目:解剖生理学Ⅰ 【1単位:30時間 授業回数:15回】					
担当教員	木戸田 朋子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造を正確に理解する。 人体の構造を学び、看護に必要な健康や疾病、障害に関する観察力、洞察力を養う。				
到達目標	1. 人体の構造について学ぶ。 2. 各器官の名称、構造、構造としくみ等について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 解剖生理学のための基礎知識A	講義		木戸田
	2	第1章 B、第9章 身体機能の防御と適応A	講義		木戸田
	3	第7章 身体の支持と運動A、B、C、D	講義		木戸田
	4	第7章 身体の支持と運動E、F、G	講義		木戸田
	5	第3章 呼吸と血液のはたらきA	講義		木戸田
	6	第4章 血液の循環とその調節A、B、D	講義		木戸田
	7	第4章 血液の循環とその調節F 第9章 B-③	講義		木戸田
	8	第2章 栄養の消化と吸収A、B	講義		木戸田
	9	第2章 栄養の消化と吸収C、D	講義		木戸田
	10	第5章 体液の調節と尿の生成A、B 第10章A	講義		木戸田
	11	第10章 生殖・発生と老化のしくみB、C	講義		木戸田
	12	第6章 内臓機能の調節A、B、C	講義		木戸田
	13	第8章 情報の受容と処理A、B	講義		木戸田
	14	第8章 情報の受容と処理C、G	講義		木戸田
	15	第8章 情報の受容と処理H、I	講義		木戸田
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野 科目:解剖生理学Ⅱ 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】					
担当教員	嵯峨 堅	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。解剖生理学Ⅰに引き続き、より発展的、生理学的知識を深める。				
到達目標	1. 人体構造の基本をより発展的に学ぶ 2. 身体表面、皮膚、血管、筋、骨について詳しく学ぶ 3. 血液成分、呼吸、循環、消化、吸収、排泄のメカニズムを理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	解剖生理学入門(細胞と組織の機能)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	2	からだの表面構造と皮膚機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	3	からだの支持と運動 (体幹、上肢の運動器の機能と運動神経)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	4	からだの支持と運動 (下肢、頭部の運動器の機能と運動神経)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	5	運動器の機能まとめ (脳の運動機能と情報統御)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	6	血液の構成と機能1(基本)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	7	血液の構成と機能2(発展)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	8	呼吸器の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	9	心臓の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	10	脈管系の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	11	消化器の機能1(頭頸部の消化器の機能)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	12	消化器の機能2(胸腹部の消化管の機能)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	13	消化器の機能3(消化管の付属器の機能)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	14	泌尿器の機能1(尿の生成)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	15	泌尿器の機能2(尿の運搬、蓄積、排出)	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器【医学書院】				
評価方法	小テスト、中間テスト、期末テスト				
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である。自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい。				

分野:専門基礎分野 科目:解剖生理学Ⅲ 【 1単位:30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	嵯峨 堅	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。内分泌系、生殖器系、神経系、感覚器系の構造とはたらきを専門的に学び、看護に必要な健康や疾病・障害に関する観察力、洞察力を養う。				
到達目標	1. 内分泌系、生殖器の構造と機能を学びヒトの成長、恒常性の維持と老化について理解する。 2. 自らの体を守る仕組みを理解する。 3. 神経系、感覚器系の構造とはたらきを学び、神経と運動の関連や外部環境からの情報の受容と処理について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	内分泌系1 総論 ホルモンの基本	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	2	内分泌系2 視床下部下垂体系の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	3	内分泌系3 甲状腺、膵臓、副腎、性腺など	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	4	生殖器系1 男性生殖器の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	5	生殖器系2 女性生殖器の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	6	外部環境からの防御1 皮膚の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	7	外部環境からの防御2 非特異的防御	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	8	外部環境からの防御3 特異的防御	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	9	神経系1 総論 神経系の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	10	神経系2 中枢神経の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	11	神経系3 末梢神経(脳脊髄神経)の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	12	神経系4 末梢神経(自律神経)の機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	13	感覚器系1 感覚器総論	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	14	感覚器系2 視覚器の機能 献体とは	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
	15	感覚器系3 平衡聴覚, 嗅覚, 味覚器の機能 まとめ 解剖学実習見学準備	講義	教科書対応部分を読んでおく	嵯峨
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ脳・神経【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ皮膚【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ眼科【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ耳鼻咽喉【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ歯・口腔【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ女性生殖器【医学書院】				
評価方法	小テスト、中間テスト、期末テスト				
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である。自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい。				

分野:専門基礎分野		科目:生化学		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	佐藤 秀明 原田 二郎	杉島 正一 塚口 舞	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	化学の基礎知識をもとに生体の恒常性を保ち、生命が成り立っている仕組みを理解し、健康や疾病に関する観察力を養う。						
到達目標	1. 化学の基礎を理解し、生体の生命維持、活動に必要な栄養素とそのはたらきが理解できる 2. 生体で消化・吸収される栄養素とエネルギーの取得・代謝・消費が理解できる 3. 生体を科学的にとらえ疾病について説明できる 4. 遺伝、先天異常について説明できる						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	生化学を学ぶための基礎知識		講義	教科書第1章を音読	杉島	
	2	代謝の基礎と酵素・補酵素		講義	教科書第2章を音読	杉島	
	3	酵素の反応速度と阻害、糖質の構造と機能(1)		講義	教科書第2, 3章を音読	杉島	
	4	糖質の構造と機能(2)、糖質代謝(1)		講義	教科書第3, 4章を音読	杉島	
	5	糖質代謝(2)		講義	教科書第4章を音読	杉島	
	6	脂質の構造と機能、脂質代謝(1)		講義	教科書第5, 6章を音読	佐藤	
	7	脂質代謝(2)、タンパク質の構造と機能(1)		講義	教科書第6, 7章を音読	佐藤	
	8	タンパク質の構造と機能(2)、タンパク質代謝(1)		講義	教科書第7, 8章を音読	佐藤	
	9	タンパク質代謝(2)、ポルフィリン代謝と異物代謝		講義	教科書第8, 9章を音読	佐藤	
	10	遺伝子と核酸		講義	教科書第10章を音読	原田	
	11	遺伝子の複製・修復・組換え		講義	教科書第11章を音読	原田	
	12	転写		講義	教科書第12章を音読	原田	
	13	翻訳と翻訳後修飾		講義	教科書第13章を音読	原田	
	14	シグナル伝達		講義	教科書第14章を音読	塚口	
	15	がん		講義	教科書第15章を音読	塚口	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学【医学書院】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	筆記試験・小テスト・レポート						
学生へのメッセージ							

分野:専門基礎分野 科目:栄養学 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】					
担当教員	平山 貴恵 霧久 直美 小西 亜也加 伊藤 真理 作間 理恵子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	人間にとっての栄養について理解し、健康を維持できない状態の対象に生活全般からの保健指導、栄養指導の必要性を考えることができる。				
到達目標	1. 適切な栄養摂取、栄養素のバランス、栄養素の過不足などによる身体変化についてアセスメントできる 2. 病院食の特徴について説明できる 3. ライフステージにおける栄養と栄養食事療法について学ぶ 4. 栄養食事療法におけるチーム医療の実際が理解できる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	人間栄養学と看護	講義		平山
	2	栄養状態の評価・判断法	講義		小西
	3	栄養素の種類と働き	講義		平山
	4	エネルギー代謝	講義		小西
	5	栄養ケア・マネジメント	講義		平山
	6	ライフステージと栄養①	講義		伊藤
	7	ライフステージと栄養②	講義		作間
	8	ライフステージと栄養③	講義		霧久
	9	臨床栄養	講義		霧久
	10	循環器疾患	講義		作間
	11	内分泌、腎疾患	講義		伊藤
	12	骨粗鬆症、在宅栄養	講義		平山
	13	健康づくりと食品・食事・食生活	講義		作間
	14	医療・福祉の場における栄養食事療法	講義		小西
	15	まとめ	講義		平山
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学【医学書院】 糖尿病食事療法のための食品交換表【日本糖尿病協会・文光堂】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験、演習レポート				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野 科目:病理学 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	西田 直代	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	健康から疾病に至る生体に共通する病理的变化や発生機序、プロセスについて学ぶ。				
到達目標	1. 生体のシステムと病気、生命現象を理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	組織障害と再生・修復: 壊死、アポトーシス、再生、化生、 創傷治癒、異物処理、肥大と過形成	講義		西田
	2	循環障害: 充血とうっ血、浮腫、側副循環、出血、 血栓、塞栓、梗塞、ショック、高血圧	講義		西田
	3	炎症・感染: 急性炎症、慢性炎症、病原微生物、 敗血症、日和見感染、耐性菌	講義		西田
	4	免疫とアレルギー: 免疫系の役割としくみ、アレルギー、 自己免疫疾患	講義		西田
	5	腫瘍: 腫瘍の分類、癌・肉腫、腫瘍の発生と 進展・転移	講義		西田
	6	代謝異常: 脂質代謝異常、糖質代謝異常、 たんぱく質代謝異常、肥満	講義		西田
	7	乳幼児の病理: 周産期の疾病、先天異常	講義		西田
	8	老化と老年病: 諸臓器の変化	講義		西田
使用テキスト等	カラーで学べる病理学【ヌーヴェルヒロカワ】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖学【医学書院】				
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野		科目:疾病論Ⅰ (呼吸器、循環器、血液・造血器)		【 2単位: 45時間		授業回数: 23回		】				
担当教員		宮川 洋介 吉戒 勝 佐藤 久 南野 隆一 川崎 友裕 梅地 恭子 折田 義也 福岡 良太 小此木 太一 古賀 久士 平井 敬佑		年次・ 開講時期		1年前期		授業形態		講義 演習		
授業の概要		看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 呼吸器疾患、循環器疾患、血液・造血器に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。										
到達目標		1. 呼吸器疾患、循環器疾患、血液・造血器に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する										
授業計画		回	授業内容				授業方法		事前学習等		担当	
		1	呼吸器の構造と機能				講義				宮川	
		2	症状と病態生理				講義				宮川	
		3	検査・治療と処置1				講義				宮川	
		4	検査・治療と処置2				講義				宮川	
		5	検査・治療と処置3 疾患の理解1				講義				宮川	
		6	疾患の理解2				講義				宮川	
		7	疾患の理解3				講義				宮川	
		8	疾患の理解4				講義				宮川	
		9	呼吸器のまとめ				講義				宮川	
		10	循環器の構造と機能				講義				川崎	
		11	症状とその病態生理				講義				川崎	
		12	循環器系検査				講義				梅地	
		13	心不全				講義				古賀	
		14	不整脈				講義				折田	
		15	不整脈の治療				講義				折田	
		16	虚血性心疾患				講義				福岡	
		17	弁膜症				講義				小此木	
		18	心膜炎・心筋疾患				講義				平井	
		19	高血圧・肺性心				講義				古賀	
		20	動脈系・静脈系疾患				講義				吉戒	
		21	先天性心疾患				講義				佐藤	
		22	血液総論 貧血				講義				南野	
		23	主な疾病と治療① 白血球系の異常				講義				南野	
		24	主な疾病と治療② 出血性疾患				講義				南野	
使用テキスト等		系統看護学講座 専門分野Ⅱ呼吸器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ循環器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ血液・造血器【医学書院】										
主たる参考図書・文献		系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】										
評価方法		終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する。										
学生へのメッセージ												

分野: 専門基礎分野		科目: 疾病論Ⅱ (消化器、内分泌・代謝、腎・泌尿器)		【 2単位: 45時間 授業回数: 23回 】			
担当教員	中村 弘毅 當時久保 正之 奥田 誠也 徳田 雄治	高尾 貴史 宇治 祥隆 御厨 邦子 佐保 博美	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害、とその回復過程について学ぶ。 消化器疾患、内分泌・代謝疾患、腎・泌尿器に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し看護過程の展開に役立てる。						
到達目標	1. 消化器疾患、内分泌・代謝、腎・泌尿器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	消化吸収のしくみとその異常		講義		中村	
	2	症状とその病態生理		講義		中村	
	3	主な診断と検査		講義		佐保	
	4	食道の疾患(一部胃も)		講義		御厨	
	5	胃の疾患		講義		御厨	
	6	肝臓の働きと疾患治療		講義		高尾	
	7	胆道系と膵臓の疾患		講義		高尾	
	8	腸と腹膜疾患		講義		宇治	
	9	腹部外傷		講義		宇治	
	10	内分泌総論		講義		當時久保	
	11	内分泌各論(甲状腺・下垂体)		講義		當時久保	
	12	内分泌疾患各論		講義		當時久保	
	13	代謝(高尿酸血症、糖尿病総論)		講義		當時久保	
	14	代謝(糖尿病治療)		講義		當時久保	
	15	代謝(インスリン、脂質異常症)		講義		當時久保	
	16	内分泌検査		講義		當時久保	
	17	内分泌のまとめ		講義		當時久保	
	18	腎臓の解剖と機能		講義		奥田	
	19	腎臓の検査 診断		講義		奥田	
	20	急性腎不全 と慢性腎不全の病態と治療		講義		奥田	
	21	全身疾患と腎障害		講義		奥田	
	22	泌尿生殖器の病態と疾患 尿路変更 感染症 結石 神経因性膀胱		講義		徳田	
	23	泌尿器生殖器の病態と疾患 腫瘍		講義		徳田	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器【医学書院】						
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床検査 【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】						
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する。						
学生へのメッセージ							

分野:専門基礎分野		科目:疾病論Ⅲ (運動器、脳・神経)		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回		】	
担当教員	二之宮 謙一 合志 光平 山本俊策 佐々木 大 牟田口 滋			一ツ松 勤 澁谷 統壽 石堂 克哉		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 運動器、脳・神経系に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解し、看護過程の展開に役立てる。								
到達目標	1. 運動器疾患、脳・神経疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する								
授業計画	回	授業内容					授業方法	事前学習等	担当
	1	運動器のしくみとその異常 症状と病態生理・主な診断と検査					講義		山本
	2	外傷性の運動器疾患 骨折					講義		合志
	3	運動器 脱臼					講義		牟田口
	4	運動器 捻挫および打撲、神経の損傷					講義		牟田口
	5	運動器 炎症、代謝、腫瘍、その他の疾患					講義		二之宮
	6	運動器 筋・腱、靱帯などの損傷、先天性疾患					講義		合志
	7	運動器 脊椎の疾患					講義		二之宮
	8	運動器 運動器不安定症					講義		佐々木
	9	脳・神経の構造と機能 症状と病態生理 主な診断と検査					講義		一ツ松
	10	症状と病態生理					講義		石堂
	11	神経学の捉え方・疾患と病態					講義		一ツ松
	12	疾患の理解、検査					講義		石堂
	13	意識障害 生体リズム 認知機能（障害） 痛み 頭痛 感覚障害					講義		澁谷
	14	疾患論 免疫性神経疾患 脊髄から末梢神経疾患、神経・筋疾患					講義		澁谷
	15	パーキンソン病、アルツハイマー病 他 変性疾患					講義		澁谷
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経【医学書院】								
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】								
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する。								
学生へのメッセージ									

科目: 疾病論Ⅳ 分野: 専門基礎分野 (アレルギー、膠原病、感染症、女性生殖器、放射線)					
担当教員 宮本 祐一 馬場 美樹 菅沼 明彦 小野 研 井上 充 二子石 直樹		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態 ☐ 講義 ☐ 演習	
授業の概要 看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 アレルギー疾患、膠原病、感染症の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。					
到達目標 1. アレルギー、膠原病、感染症に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する 2. 女性生殖器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する 3. 放射線治療の概要と画像診断の種類、放射線の人体への影響と防護について理解する					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	免疫のしくみ	講義		宮本
	2	喘息、アレルギー性鼻炎、皮膚アトピー 薬剤アレルギー、接触性皮膚炎、 食物アレルギー、アナフィラキシー	講義		宮本
	3	自己免疫疾患の仕組み	講義		宮本
	4	膠原病について	講義		宮本
	5	①HIV ②感染症各論①	講義		菅沼
	6	感染症総論	講義		菅沼
	7	感染症各論②	講義		菅沼
	8	女性生殖器の解剖	講義		井上
	9	婦人科領域の診察、検査	講義		井上
	10	婦人科系疾患(非腫瘍)	講義		井上
	11	婦人科系疾患(腫瘍)	講義		井上
	12	乳腺外科疾患	講義		馬場
	13	画像診断	講義		小野
	14	放射線治療	講義		小野
	15	放射線医学	講義		二子石
使用テキスト等 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー膠原病 感染症【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】					
主たる参考図書・文献 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床検査【医学書院】					
評価方法 終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する。					
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野					
科目: 疾病論Ⅴ (皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔) 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	山口 隆広 御厨 剛史	岩田 健作 豊福 司生	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態 ☒ 講義 ☐ 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。				
到達目標	1. 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	皮膚疾患 総論 皮膚疾患 各論	講義		山口
	2	皮膚疾患各論① アレルギー性皮膚疾患、褥瘡、腫瘍	講義		山口
	3	皮膚疾患各論② 皮膚腫瘍、感染症、膠原病	講義		山口
	4	皮膚潰瘍、外用剤について その他 感染症(疥癬など)	講義		山口
	5	眼のしくみとその異常 症状と病態生理	講義		岩田
	6	眼疾患の主な診断と検査 眼疾患の理解① 機能の障害	講義		岩田
	7	眼疾患の理解② 感染症	講義		岩田
	8	眼疾患の理解③ 機能の障害 部位別の疾患	講義		岩田
	9	鼻科学	講義		御厨
	10	耳科学	講義		御厨
	11	咽喉頭科学	講義		御厨
	12	歯科の看護を学ぶにあたって 歯 口腔の構造と機能	講義		豊福
	13	症状とその病態生理 検査と治療	講義		豊福
	14	疾患の理解 患者の看護	講義		豊福
	15	患者の看護 口腔ケア	講義		豊福
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床検査【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】				
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 薬理学 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	相部 絹佳 田中 康熙 樺島 三樹絵 原田 さやか	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	薬物の種類、作用機序、保管方法を理解し、治療に使用される薬物が人体に及ぼす影響を理解するための基礎知識を学ぶ。				
到達目標	1. 薬物療法のしくみを理解する 2. 薬剤の安全な使用(効果的な活用と薬害の防止)について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	薬が作用するしくみ 薬の処方と管理 与薬エラー	講義		相部
	2	自律神経	講義		相部
	3	中枢神経	講義		相部
	4	内分泌・麻酔	講義		相部
	5	アレルギー・炎症	講義		相部
	6	血液・輸液	講義		樺島
	7	循環器1	講義		田中
	8	循環器2	講義		田中
	9	呼吸器	講義		原田
	10	消化器	講義		原田
	11	代謝	講義		相部
	12	抗がん剤	講義		原田
	13	抗菌薬	講義		樺島
	14	特殊な薬	講義		相部
	15	まとめ	講義		相部
使用テキスト等	イラストでまなぶ薬理学 第2版 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する。				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野		科目:微生物学		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】		
担当教員	原 好勇 野田 哲寛		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	微生物の特徴と生体に及ぼす影響および感染に対する生体の防御反応を理解する。					
到達目標	1. ヒトに重要な影響を与える微生物の特徴を理解する 2. 感染症について学び、関連する疾病の理解と感染予防の知識を深める					
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当
	1	微生物学とは(序論)		講義	教科書の該 当項目を予 習しておく	原
	2	感染と発症		講義		原
	3	感染と免疫		講義		原
	4	細菌学総論		講義		野田
	5	細菌の病原性①		講義		野田
	6	細菌の病原性②		講義		野田
	7	細菌の病原性③		講義		野田
	8	細菌の病原性④		講義		野田
	9	ウイルス学総論		講義		原
	10	ウイルスの病原性①		講義		原
	11	ウイルスの病原性②		講義		原
	12	ウイルスの病原性③		講義		原
	13	真菌・寄生虫感染症		講義		野田
	14	感染症の予防・治療法		講義		原
	15	滅菌と消毒、院内感染対策		講義		野田
使用テキスト等	イラストでわかる微生物学入門 病原微生物の感染のしくみ 【南山堂】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	終講試験、受講状況、レポートなど総合的に評価する					
学生へのメッセージ						

分野:専門基礎分野		科目:社会福祉		【 2単位: 45時間		授業回数: 23回		】						
担当教員		中野 繁広		年次・ 開講時期		2年前期		授業形態		講義		演習		
授業の概要		国民の最低生活を保障する社会保障制度と、健康で自立した生活を支援するための社会福祉の制度について学ぶ。 少子、超高齢者社会を迎える我が国の今後の課題と展望を学ぶ。												
到達目標		1. 社会保障や社会福祉の各制度と、相互連携の重要性を理解する 2. 対象を総合的に支えるための方法を理解する 3. 社会福祉における看護師の役割と専門職種との連携を理解する												
授業計画	回	授業内容					授業方法		事前学習等		担当			
	1	社会福祉とは 社会保障と社会福祉					講義		社会保障に関連する法律を調べる		中野			
	2	権利としての社会保障 社会保障の領域・方法					講義				中野			
	3	社会福祉の法制度 法制度の歴史					講義		今の自分と、両親世代とのライフスタイルの変化について考えてくる		中野			
	4	高齢者の住まいや在宅サービス 施設サービス提供の仕組み、地域包括ケア					講義				中野			
	5	社会福祉6法 社会福祉の担い手					講義				介護保険制度に関する新聞記事の内容を要約する		中野	
	6	介護保険制度創設の背景 介護保証の歴史					講義						中野	
	7	医療介護総合確保推進法の成立 医療と介護の連携					講義		中野					
	8	介護保険制度の基本理念 保険者・被保険者					講義		中野					
	9	要介護認定 介護保険で利用できるサービス					講義				中野			
	10	介護保険サービスの適正利用 平成27制度改正のポイント					講義				中野			
	11	介護保険施設サービス 地域密着型サービス					講義		所得保証制度についてまとめる		中野			
	12	地域包括支援センターについて					講義				中野			
	13	成年後見制度の活用について					講義		生活保護に関する新聞記事の内容を要約する		中野			
	14	介護予防支援と介護予防・日常生活支援総合事業について					講義				中野			
	15	高齢者の住まいの種類 高額介護サービス費					講義				中野			
	16	認知症対策 新オレンジプランについて					講義				中野			
	17	生活保護制度の目的・原理					講義		ノーマライゼーションの理念についてまとめる		中野			
	18	生活保護実施の方法(8つの扶助)					講義				中野			
	19	生活保護の実施(被保護者の権利と義務) 低所得者対策					講義				中野			
	20	障害者福祉 身体障害者へのサービス					講義		医療に関わる職種のそれぞれの役割と機能について考える		中野			
	21	障害者総合支援報 児童福祉					講義				中野			
	22	医療保障 社会福祉に関する過去問					講義				中野			
	23	社会福祉のまとめ					講義				中野			
使用テキスト等		系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 【医学書院】												
主たる参考図書・文献														
評価方法		終講試験、受講態度、課題レポート												
学生へのメッセージ														

分野:専門基礎分野 科目:看護関係法令 【 1単位:15時間 授業回数:8回 】					
担当教員	松尾 やす子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	国民の健康を守り、生命に直接関係する医療人として、与えられた責務を正しく遂行するための保健医療福祉制度に関する法律及び看護師に必要な法令を学ぶ。				
到達目標	1. 看護関係法令および厚生行政の仕組みについて理解する 2. 法と私たちの日常、法と看護について、関連付けて考えることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 法の概念 第2章 看護法①	講義		松尾
	2	第2章 看護法②	講義		松尾
	3	第3章 医事法① ・医療法	講義		松尾
	4	第3章 医事法② ・医療関係資格法 ・保健福祉関係資格法	講義		松尾
	5	第4章 保健衛生法	講義		松尾
	6	第5章 薬務法 第6章 環境衛生法 第10章 環境法	講義		松尾
	7	第7章 社会保険法 第8章 福祉法	講義		松尾
	8	第9章 労働法と社会基盤法	講義		松尾
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	看護六法 看護行政研究会編集 【新日本法規】				
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポート				
学生へのメッセージ	予習復習をしっかりとって授業をうけるよう心がけて下さい				

分野:専門基礎分野						科目:公衆衛生		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回		】		
担当教員		的場 恒孝			年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		人々が健康を保持していくために、どのような社会的施策が行われているかを理解する。また、健康保持策に生活環境、職場環境、自然環境が大切であることを学んで、環境保全策を考える。												
到達目標		社会における人々の健康保持施策に生活・職場・自然環境が大切であることを学んで、健康保持施策を立案できる。												
授業計画		回	授業内容				授業方法		事前学習等		担当			
		1	公衆衛生学の歴史の理解				講義				的場			
		2	社会と人々の動態				講義		前回の内容を理解し、理解できなかった点を質問する					
		3	医療と社会1				講義							
		4	医療と社会2				講義							
		5	環境と健康1				講義							
		6	環境と健康2				講義							
		7	母子保健				講義							
		8	学校保健				講義							
		9	労働保健1				講義							
		10	労働保健2				講義							
		11	高齢者保健				講義							
		12	社会保障				講義							
		13	精神保健				講義							
		14	国際保健・災害保健				講義							
		15	社会での看護師の位置付け				講義							
使用テキスト等		国民衛生の動向 【厚生統計協会】（最新号） 毎回の授業に全てのレジュメ・資料を持参すること！												
主たる参考図書・文献		「シンプル衛生公衆学」など。図書室を利用する。												
評価方法		期末試験、小テスト、レポート、受講ノートを総合評価。												
学生へのメッセージ		よく考えながら講義を聞く。 わからない事項は、質問するか、図書室にて自分で調べる。												

分野:専門基礎分野 科目:総合医療論					
【 2単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	古賀 伸彦 林 明宏	薬師寺 道明	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態 講義 演習
授業の概要	医療の歴史と現代の医療、我々の日常生活と密着した医療のあり方について学び、看護を目指す学生が医療全般の概要をとらえる。				
到達目標	1. いのちと健康に向き合う医療の原点について理解する 2. わが国の医療業界におけるさまざまな課題を考えることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	医療コミュニケーションの重要性	講義		古賀
	2	医療と看護の原点 病と癒し①	講義		古賀
	3	医療と看護の原点 病と癒し②	講義		古賀
	4	医療の歩みと医療観の変遷	講義		古賀
	5	科学技術の進歩と現代医療の最前線	講義		古賀
	6	筑後の医療の歴史	講義		薬師寺
	7	がん研究の歴史 第1部①	講義		薬師寺
	8	がん研究の歴史 第1部②	講義		薬師寺
	9	がん看護従事者への助言 ～臨床医の立場から～	講義		薬師寺
	10	がん研究の歴史 第2部	講義		薬師寺
	11	現代医療の新たな課題①	講義		林
	12	医療を見直す新しい視点	講義		林
	13	現代医療の新たな課題②	講義		林
	14	患者安全、インフォームドコンセント	講義		林
	15	保健・医療・福祉の潮流	講義		林
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎 総合医療論【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポート				
学生へのメッセージ					

専門分野 I

分野:専門分野Ⅰ		科目:基礎看護学概論		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回	
担当教員	佐藤 和美 下河 富士栄		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	看護の歴史的変遷と理論家の看護の定義や看護職能集団による定義を学び、看護の本質とは何かを考える。 さらに看護の対象や看護の場、看護倫理、看護システム、看護の国際化を学び、実際の看護活動や今後の看護のあり方について考える。						
到達目標	1. 看護の概念・役割・機能、看護活動の場をについて理解する 2. 看護の歴史的変遷を理解する 3. 看護の対象である人間を理解する 4. 保健医療福祉チームにおける看護の機能と役割を理解する 5. 医療の場における倫理的配慮の必要性を知り、行動できる 6. 看護の国際化を学び、今後の看護のあり方について考えることができる						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	看護学概論で何を学ぶか		講義 GW	テキストを 読んで学習 に臨む	下河	
	2	第1章 看護とは				下河	
	3	看護の変遷 看護の本質 看護の役割と機能				下河	
	4	第2章 看護の対象の理解		講義 GW		下河	
	5	人間の「こころ」と「からだ」 生涯発達しつづける存在 人間の「暮らし」の理解				下河	
	6	第3章 健康のとらえ方と国民の健康状態		講義 GW		下河	
	7	健康とは何か 健康の関連要因				下河	
	8	第4章 看護の提供者		講義		下河	
	9	①職業としての看護 ②看護職の養成制度と就業状況 ③看護職者の教育とキャリア開発 ④看護職者の養成制度の課題				下河	
	10	第5章 看護における倫理		講義 GW		佐藤	
	11	①現代社会と倫理 ②医療をめぐる倫理の歴史的経緯と 看護倫理				佐藤	
	12	第6章 看護提供のしくみ		講義		佐藤	
	13	①サービスとしての看護 ②看護サービスの提供の場				佐藤	
		③看護をめぐる制度と政策 ④看護サービスの管理 ⑤医療安全と医療の質保障				佐藤	
14	第7章 広がる看護の活動領域		講義 GW		佐藤		
15	国際化と看護 災害時における看護				佐藤		
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論【医学書院】 看護覚え書き【現代社】 看護の基本となるもの【日本看護協会】						
主たる参考図書・文献	厚生白書 厚生労働省編 平成29年版 厚生労働省 日本看護協会 看護者の基本的責務【日本看護協会出版社】 吉田みつ子 看護倫理【医学書院】 国民衛生の動向【厚生統計協会】						
評価方法	筆記試験、レポート、受講態度など						
学生へのメッセージ							

分野:専門基礎Ⅰ 科目:看護理論					
【 1単位: 15 時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	佐藤和美 他	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	☒ 講義 ☐ 演習
授業の概要	看護の見方、考え方の基盤として看護理論全般について学修し、代表的な理論家の理論内容を看護実践へ活用する方法について学修する。 看護理論とは何か、理論構築の過程など理論学習に必要な概念や、それぞれの理論家の看護のメタパラダイムや理論内容について講義や発表を組み合わせで行う。				
学生の到達目標	1. 看護理論を学ぶ目的・意義が理解できる。 2. 看護理論を実践へ活用する方法について理解する。 3. 看護理論を学習することにより、看護の見方・考え方の基礎を習得する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	理論とは 1.理論の定義 2.用語の定義 3.理論の種類 4.理論の説明 5.理論の評価 6.看護理論の歴史と動向	講義		佐藤
	2	F.ナイチンゲール「看護覚え書」の特徴、 ナイチンゲール以降の社会情勢と理論の出現過程	講義 DVD		一ノ瀬
	3	V.ヘンダーソン「看護の基本となるもの」 ニード論	講義		西
	4	ジョイス・トラベルビー 人間対人間関係モデル	講義		佐藤
	5	H.E.ペプロウ 人間関係論	講義 DVD		中尾
	6	D.E.オレム 看護のセルフケア不足理論	講義		下河
	7	C.ロイ 適応看護モデル	講義		森
	8	まとめ	講義		佐藤
使用テキスト等	資料配布				
主たる参考図書・文献	看護理論 看護理論20の理解と実践への応用【南江堂】 看護理論家とその業績【医学書院】 看護覚え書【現代社】 看護の基本となるもの【日本看護協会】 ペプロウ人間関係の看護論【医学書院】 人間対人間の看護【医学書院】 オレムのセルフケア不足理論【照林社】 ロイの適応モデル【医学書院】				
評価方法	終講試験、レポートなど				
学生へのメッセージ	事前学修が必要				

分野:専門分野Ⅰ 科目:看護研究Ⅰ 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	森 由紀	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問、あるいは問題を科学的に探究する能力を養うと共に、看護研究の基礎を学ぶ。				
到達目標	1. 研究に関する基礎知識が理解できる 2. 研究の進め方が理解できる 3. 研究の倫理的配慮について説明できる 4. パソコンを用いて文献検索ができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	オリエンテーション 看護研究について	講義		森
	2	エビデンスに基づく看護研究 研究テーマについて グラフ作成	講義		森
	3	データと情報化、アンケート調査について アンケート調査の実施手順	講義		森
	4	研究テーマの絞込みの手順 アンケート作成			森
	5	インフォームドコンセント、個人情報 アンケート作成	講義 演習		森
	6	ナースのモラル アンケート集計作業	講義		森
	7	文献検索 医中誌Webデモを使用して検索	講義		森
	8	アンケート集計作業 ・コーディング ・アフターコーディング	講義		森
	9	量的研究と質的研究について	講義		森
	10	量的研究の研究デザイン 基本統計(メジアン、モード、平均など)	講義 演習		森
	11	量的研究のアプローチ 母集団のサンプリング	講義 演習		森
	12	量的研究のアプローチ 標準偏差 STDEVS、STDEVP	講義 演習		森
	13	量的なデータの分析を試みる データ収集の方法としての質問紙法	講義		森
	14	データ収集の方法としての質問紙 質問紙を自分で作成する	講義		森
	15	終講試験	講義		森
使用テキスト等	『黒田裕子の看護研究StepbyStep 第5版』 【学研】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 看護研究 【メディカ出版】 医療従事者のための情報リテラシー 【日経BP社】				
評価方法	終講試験、レポート、受講態度など				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅰ		科目:生活援助技術Ⅰ		【2単位:45時間		授業回数:23回】	
担当教員	大久保 純子 宮崎 亜矢子		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。						
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	看護技術とは		講義		大久保	
	2	病床環境とは 病室の環境のアセスメントと調整		講義		大久保	
	3	環境を整える技術 ①ベット周囲の環境整備		講義		大久保	
	4	②病床を整える					
	5	ベッドメイキング		演習	演習前に 看護技術 をまとめておく	大久保	
	6						
	7	清潔援助の基礎知識 ①皮膚・粘膜の構造と機能 ②清潔援助の効果 ③患者の状態に応じた援助の決定と留意点		講義	講義前に 教科書 を読んでくる 演習前に 看護技術を まとめておく	宮崎	
	8	清潔の援助の実際 ①入浴・シャワー浴 ②全身清拭 ③陰部洗浄		講義		宮崎	
	9	全身清拭		演習		宮崎	
	10						
	11	洗髪の基礎知識と実際		講義		宮崎	
	12	洗髪(洗髪車・ケリーパット)		演習		宮崎	
	13						
	14	手浴・足浴・フットケアの基礎知識と実際		講義		宮崎	
	15	手浴・足浴		演習		宮崎	
	16	洗面・耳・鼻の清潔の基礎知識と実際 整容・口腔ケア		講義		宮崎	
	17	整容・口腔ケア		演習		宮崎	
	18	病床での衣生活の援助の基礎知識		講義		宮崎	
	19	衣生活の実際		講義		宮崎	
	20	病衣・寝衣交換		演習		宮崎	
	21	清潔の援助(事例)		演習	グループで 演習・発表を行 う	宮崎	
	22						
23	まとめ		講義		宮崎		
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ【医学書院】 竹尾恵子『看護技術プラクティス』【学研】						
主たる参考図書・文献	新体系看護学全書 基礎看護【メヂカルフレンド社】						
評価方法	技術試験、終講試験、課題レポート、受講態度等で総合的に評価する						
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください。 また、演習前には課題の提示をします。						

分野:専門分野Ⅰ 科目:生活援助技術Ⅱ					
【2単位:45時間 授業回数:23回】					
担当教員	中尾 博美 大久保 純子	一ノ瀬 美津子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態 ☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	活動・休息 ①基本的活動の援助の基礎知識 ②体位 ③体位変換	講義		中尾
	2	④移動 ⑤移乗・移送	講義		中尾
	3	睡眠と休息の援助 体位保持(ポジショニング)基礎知識・援助	講義		中尾
	4	体位保持(ポジショニング)の実際	演習		中尾
	5	体位変換・移乗	演習		中尾
	6	体位変換・移乗・移送の援助	演習		中尾
	7	体位変換・移乗・移動の援助	演習		中尾
	8				
	9	食事援助の基礎知識 ①栄養状態および食欲・摂食能力の アセスメント ②医療施設で提供される食事	講義	テキストを 読んでおく	大久保
	10	食事介助の基礎知識・実際	講義		大久保
	11	摂取・嚥下訓練の基礎知識・実際	講義		大久保
	12	非経口的栄養摂取の援助	講義		大久保
	13	食事援助	演習		大久保
	14	経管栄養	演習		大久保
	15	排泄 自然排尿および自然排便の介助の基礎知識①	講義	テキストを 読んでおく	一ノ瀬
	16	排泄 自然排尿および自然排便の介助の基礎知識②	演習		一ノ瀬
	17	排泄の援助①トイレにおける排泄介助	演習		一ノ瀬
	18	排泄の援助②床上排泄援助	演習		一ノ瀬
	19	排泄の援助③おむつによる排泄援助	演習		一ノ瀬
	20	導尿:一時的導尿 持続的導尿	講義		一ノ瀬
	21	排便を促す援助①	演習		一ノ瀬
	22	排便を促す援助②	演習		一ノ瀬
	23	排便を促す援助③	演習		一ノ瀬
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】 竹尾恵子 『看護技術プラクティス』 【学研】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護技術 【メディカ出版】 新体系看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 【メヂカルフレンド社】				
評価方法	技術試験、終講試験、小テスト、受講態度など				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅰ		科目:看護共通技術Ⅰ		【2単位: 45時間		授業回数: 23回】	
担当教員	佐藤 和美 一ノ瀬 美津子 大久保 純子		年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義	演習
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学修する。						
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	コミュニケーション 1)コミュニケーションの意義と目的 2)コミュニケーションの構成要素と成立過程	講義	テキストを読んでおくこと	佐藤		
	2	3)関係構築のためのコミュニケーションの基本 4)効果的なコミュニケーションの実践	講義		佐藤		
	3	5)コミュニケーション障害への対応 対人関係の振り返り プロセスレコードとは	講義		佐藤		
	4	プロセスレコードの作成と分析	演習		佐藤		
	5	ヘルスアセスメントとは 問診とは	講義・演習	テキスト、サブテキストを読んでおくこと	一ノ瀬		
	6	ヘルスアセスメントに必要な技術 (視診、触診、打診、聴診)	講義・演習		一ノ瀬		
	7	身体計測	講義・演習		一ノ瀬		
	8	看護記録 ①看護記録とは ②記載・管理における留意点 ③看護記録の構成	講義・演習		一ノ瀬		
	9	バイタルサイン測定①	講義・演習		一ノ瀬		
	10	バイタルサイン測定②	講義・演習		一ノ瀬		
	11	系統別アセスメント 呼吸器①	講義・演習		一ノ瀬		
	12	系統別アセスメント 呼吸器②	講義・演習		一ノ瀬		
	13	系統別アセスメント 循環器①	講義・演習		一ノ瀬		
	14	系統別アセスメント 循環器②	講義・演習		一ノ瀬		
	15	系統別アセスメント 消化器①	講義・演習		大久保		
	16	系統別アセスメント 消化器②	講義・演習		大久保		
	17	系統別アセスメント 運動器①	講義・演習		大久保		
	18	系統別アセスメント 運動器②	講義・演習		大久保		
	19	系統別アセスメント 感覚器・神経系①	講義・演習		大久保		
	20	系統別アセスメント 感覚器・神経系②	講義・演習		大久保		
	21	ヘルスアセスメントの視点 社会・心理状態 スピリチュアル①	講義・演習		一ノ瀬		
	22	ヘルスアセスメントの視点 社会・心理状態 スピリチュアル②	講義		一ノ瀬		
	23	学習支援 まとめ	講義・演習		一ノ瀬		
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅰ【医学書院】 動画でナットク!フィジカルアセスメント【中央法規】 系統別看護学講座 看護学概論【医学書院】						
主たる参考図書・文献	竹尾恵子『看護技術プラクティス』【学研】						
評価方法	技術試験、筆記試験、小テスト、受講態度など						
学生へのメッセージ							

分野:専門分野Ⅰ 科目:看護共通技術Ⅱ

【 1単位: 30時間

授業回数: 15回 】

担当教員	一ノ瀬 美津子 大久保 純子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学修する。				
到達目標	1. 医療安全の重要性を理解し、安全確保の技術としての予防策ができる 2. 苦痛の緩和、安楽の確保技術を修得する 3. 感染の発生の要因を理解し、その防御のための知識と技術を修得する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	感染防止の技術 ①感染防止の基礎知識	講義		大久保
	2	②標準予防対策の基礎知識と対策の実際 ・手洗い・手指消毒・防護用具の着用	講義 演習		大久保
	3	③感染経路別予防策の基礎知識と対策 ④接触予防策、飛沫予防策、空気予防策	講義		大久保
	4	⑤洗浄・消毒・滅菌の基礎知識と対策の 実際 ⑥無菌操作の基礎知識と対策の実際	講義 演習		大久保
	5	⑦感染廃棄物の取り扱いの基礎知識と 対策の実際 ⑧カテーテル関連血流感染対策 ⑨針刺し防止の基礎知識と対策の実際	講義 演習		大久保
	6	無菌操作	講義 演習		大久保
	7	ガウンテクニック			
	8	まとめ	講義 演習		大久保
	9	安全確保の基礎知識	講義 GW		一ノ瀬
	10	組織としての事故防止対策	講義 GW		一ノ瀬
	11	患者誤認防止 誤薬防止 転倒・転落防止 薬剤・放射線暴露の防止	講義 GW		一ノ瀬
	12	安楽確保の技術① 電法・リラクセーション	講義		一ノ瀬
	13	安楽確保の技術② 温電法	演習		一ノ瀬
	14	安楽確保の技術③ 冷電法	演習		一ノ瀬
	15	安楽確保の技術④ リラクセーション	演習		一ノ瀬
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】 竹尾恵子『看護技術プラクティス』 【学研】 医療安全ワークブック 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 統合分野 医療安全 【医学書院】 新体系看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 【メヂカルフレンド社】				
評価方法	終講試験、受講態度など				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅰ 科目:看護共通技術Ⅲ 【1単位:30時間 授業回数:15回】					
担当教員	下河 富士栄	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護過程の概念を学び、看護課題を解決するための展開の方法を理解する。				
到達目標	1. 看護過程の意義と目的が理解できる 2. 看護過程の構成要素と思考プロセスについて理解できる 3. 事例をもとに看護過程の展開をすることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護過程とは ①5つの構成要素 ②5つの構成要素の関係性 ③看護過程を用いることの利点	講義	テキストを 読んでおく ように	下河
	2	看護過程展開の基盤となる考え方 ①問題解決過程 ②クリティカルシンキング	講義		下河
	3	看護過程の各段階①	講義		下河
	4	看護過程の各段階②	講義		下河
	5	看護過程の各段階③	講義		下河
	6	NANDAの看護診断	講義		下河
	7	ゴードンの機能的健康パターン ①アセスメントの枠組み ②情報の整理・解釈・総合	講義		下河
	8	③情報の分析・統合 ④看護問題の明確化 ⑤計画の立案 ⑥評価	講義		下河
	9	事例を用いた看護過程の展開①	講義 GW		下河
	10	事例を用いた看護過程の展開②	講義 GW		下河
	11	事例を用いた看護過程の展開③	講義 GW		下河
	12	事例を用いた看護過程の展開④	講義 GW		下河
	13	事例を用いた看護過程の展開⑤	講義 GW		下河
	14	事例を用いた看護過程の展開⑥	講義 GW		下河
	15	まとめ	講義 試験		下河
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅰ【医学書院】 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断【ヌーベールヒロカワ】				
主たる参考図書・文献	第2版 実践に役立つ看護過程と看護診断【ヌーベールヒロカワ】				
評価方法	終講試験、レポート、受講態度など				
学生へのメッセージ	自主的にかかわり、自分の考えをまとめ意見が言えるようにしましょう。				

分野:専門分野Ⅰ 科目:診療の補助技術			【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	下河 富士栄 大久保 純子		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	診察や検査、治療、処置の基本的知識と援助技術について、科学的根拠に基づいて学修する。 看護師の役割を理解し援助技術を修得する。					
到達目標	1. 診察や検査、治療、処置に必要な基礎的知識が理解でき、安全・安楽かつ正確に実施できる 2. 検査・治療の意義および検査・治療における看護者の役割を述べることができる					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	症状・生体機能管理技術の基礎知識 検体検査の基礎知識と実際 生体情報のモニタリング	講義	テキストを読んで事前学習をして望むこと	下河	
	2	診察・検査・処置の介助技術 ①診察の介助 ②生体検査	講義		下河	
	3	穿刺・洗浄の介助の基礎知識・実際①	講義		下河	
	4	穿刺・洗浄の介助の基礎知識・実際②	講義		下河	
	5	与薬の基礎知識① 経口与薬・吸入の基礎知識と実際	講義		下河	
	6	与薬の基礎知識② 点眼・点鼻の基礎知識と実際	講義		下河	
	8	与薬の基礎知識③ 注射の実施法 皮下注射 皮内注射 筋肉注射	講義		下河	
	6	与薬の基礎知識④ 静脈注射 輸血管理	講義		下河	
	9	採血	講義 演習		下河	
	10	筋肉注射	講義 演習		下河	
	11	創傷管理技術 ①創傷管理の基礎知識 ②創傷処置 ③褥瘡予防	講義 演習		大久保	
	12	呼吸・循環を整える技術① ①酸素吸入療法の基礎知識と実際 ②吸引の基礎知識と実際	講義 演習		大久保	
	13	呼吸・循環を整える技術②	講義 演習		大久保	
	14	救命救急処置技術①	講義 演習		大久保	
	15	救命救急処置技術②	講義 演習		大久保	
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】					
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護技術 【メディカ出版】 竹尾恵子 『看護技術プラクティス』 【学研】 系統別看護学講座 医療安全 【医学書院】					
評価方法	技術試験、終講試験、受講態度など					
学生へのメッセージ						

分野:専門分野Ⅰ 科目:臨床看護総論			【1単位:30時間 授業回数:15回】			
担当教員	古賀 千代美 成富 さおり 大久保 純子		年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	あらゆる対象に対し、基本的な看護の考え方や知識・技術を総合して応用する方法を学ぶ。					
到達目標	1. 看護の対象となる人々の健康上のニーズを理解する 2. あらゆる年齢の健康障害をもつ対象の特徴を理解する 3. あらゆる療法をうけている患者に既習の知識・技術を統合する看護の実際を学ぶ					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	健康上のニーズの理解 健康状態の経過に基づく看護 ①健康の維持・増進を目指す看護 ②急性期における看護 ③慢性期における看護	講義	テキストを読 んでおくこと	大久保	
	2	④リハビリテーション期における看護 ⑤終末期における看護	講義		大久保	
	3	死の看取りの援助 エンゼルケア	講義 演習		大久保	
	4	主要な症状を示す対象への看護 ①呼吸に関連する症状を示す対象への看護 ②循環に関連する症状を示す対象 への看護	講義	グループ ワーク	大久保	
	5	主要な症状を示す対象への看護 ③栄養や代謝に関連する症状を示す対象者の看護 ④排泄に関連する症状を示す対象者への看護 ⑤活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護 ⑥認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護	講義		大久保	
	6	主要な症状を示す対象への看護 ⑦コーピングに関する症状を示す対象者への看護 ⑧安全や生体防御に関連する症状を示す対象者へ の看護 ⑨安楽に関連する症状を示す対象者への看護	講義		大久保	
	7	主要な症状を示す対象への看護 まとめ	講義	発表	大久保	
	8	治療・処置を受ける対象者への看護 ①輸液療法	講義		古賀	
	9	②化学療法 ③放射線療法	講義		古賀	
	10	④手術療法 ⑤集中治療	講義		古賀	
	11		講義		古賀	
	12	⑥創傷処置 ⑦身体侵襲を伴う検査	講義		古賀	
	13	医療機器の原理と実際① ①医療機器を安全に使うために	講義 演習		成富	
	14	医療機器の原理と実際② ②測定用医療機器の原理と実際 ③治療用医療機器の原理と実際	講義 演習		成富	
	15	事例による看護実践の展開 まとめ	講義 試験		大久保	
使用テキスト等	系統看護学講座 臨床看護総論【医学書院】 看護過程に沿った対応看護【学研】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】 竹尾恵子『看護技術プラクティス』【学研】					
評価方法	終講試験、受講態度など					
学生へのメッセージ						

専門分野Ⅱ

分野:専門分野Ⅱ		科目:成人看護学概論		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回		】					
担当教員		宮崎 亜矢子		年次・ 開講時期		1年後期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		現代社会を生きる成人期の特徴と健康問題を理解し、健康生活をはぐくむ看護援助を学ぶ。成人期にある人とその家族を看護するうえで、必要な概念、理論を学修する。											
到達目標		1.成人期の特徴と発達課題を記述できる 2.成人期における現代社会の背景と生活状況を理解する 3.成人看護に必要な看護理論を理解する 4.成人期にある対象の健康の保持・増進の方法を理解する											
授業計画		回	授業内容				授業方法		事前学習等		担当		
		1	成人期の対象の理解①				講義		事前に教科書を読んでくること		宮崎		
		2	成人期の対象の理解②				講義				宮崎		
		3	成人期における健康課題①				講義		テーマに合った調べ学習		宮崎		
		4	成人期における健康課題②				講義				宮崎		
		5	成人期における健康課題③				講義				宮崎		
		6	成人期における健康課題④				講義				宮崎		
		7	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴①				講義		事前に教科書を読んでくること		宮崎		
		8	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴②				講義				宮崎		
		9	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴③				講義				宮崎		
		10	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴④				講義				宮崎		
		11	成人期の対象理解に必要な概念①				講義				宮崎		
		12	成人期の対象理解に必要な概念②				講義				宮崎		
		13	健康教育①				講義				宮崎		
		14	健康教育②				講義				宮崎		
		15	健康教育③				講義				宮崎		
使用テキスト等		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 【医学書院】											
主たる参考図書・文献		国民衛生の動向 【厚生統計協会】											
評価方法		終講試験、受講態度、課題レポート等で総合的に評価する											
学生へのメッセージ		グループワークを行いながら、講義を進めていきます。											

分野:専門分野Ⅱ						科目:成人看護学方法論Ⅰ		【1単位:30時間		授業回数:15回】	
担当教員		栗原 幸子 林田 晶子 谷川 新太郎 松雪 友恵		年次・ 開講時期		2年前期		授業形態		講義 演習	
授業の概要		慢性・長期的な健康障害を持つ患者の特徴と看護を学ぶ。									
到達目標		1.慢性的に経過するさまざまな健康障害を持つ患者の特徴と看護を理解する 2.慢性・長期的な健康障害を持つ患者の看護に必要な知識と看護技術を理解する									
授業計画		回	授業内容			授業方法		事前学習等		担当	
		1	慢性期看護の概要 内分泌疾患患者の特徴と看護 ①			講義		学習する 臓器別の 解剖生理・ 疾病論の 学修内容を 復習しまと めておく		栗原	
		2	内分泌疾患患者の特徴と看護 ②			講義				栗原	
		3	内分泌疾患患者の特徴と看護 ③			講義				栗原	
		4	消化器疾患患者の特徴と看護 ①			講義				林田	
		5	消化器疾患患者の特徴と看護 ②			講義				林田	
		6	消化器疾患患者の特徴と看護 ③			講義				林田	
		7	アレルギー 膠原病 感染症 皮膚疾患患者の特徴と看護			講義				谷川	
		8	腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護 ①			講義				谷川	
		9	腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護 ②			講義				谷川	
		10	慢性期の看護過程の展開 ①			講義 演習		事例を用い て講義・演 習を行う		松雪	
		11	慢性期の看護過程の展開 ②			講義 演習				松雪	
		12	慢性期の看護過程の展開 ③			講義 演習				松雪	
		13	慢性期の看護実践演習 ①			講義 演習				松雪	
		14	慢性期の看護実践演習 ②			講義 演習				松雪	
		15	慢性期の看護実践演習 ③			講義 演習				松雪	
使用テキスト等		系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑥内分泌・代謝【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑤消化器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑧腎・泌尿器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑫皮膚【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑪アレルギー膠原病感染症【医学書院】									
主たる参考図書・文献											
評価方法		終講試験、受講態度、課題レポート等で総合的に評価する									
学生へのメッセージ		グループワークや演習を行いながら、講義を進めていきます									

分野:専門分野Ⅱ		科目:成人看護学方法論Ⅱ		【 1単位: 30時間	授業回数: 15回 】		
担当教員	宮地 千加子 池末 直子	末安 弥生 宮崎 亜矢子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	健康の危機状況にある患者の特徴と看護を学ぶ。						
到達目標	1.健康の危機状況にある成人患者の特徴が理解できる 2.健康の危機状況にある患者の看護に必要な知識と看護技術を理解できる						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	循環器疾患患者の特徴と看護①		講義	学習する臓器別の解剖生理・疾病論の学修内容を復習しまとめておく	末安	
	2	循環器疾患患者の特徴と看護②		講義		末安	
	3	循環器疾患患者の特徴と看護③		講義		末安	
	4	呼吸器疾患患者の特徴と看護①		講義		宮地	
	5	呼吸器疾患患者の特徴と看護②		講義		宮地	
	6	呼吸器疾患患者の特徴と看護③		講義		宮地	
	7	脳・神経疾患患者の特徴と看護①		講義		池末	
	8	脳・神経疾患患者の特徴と看護②		講義		池末	
	9	脳・神経疾患患者の特徴と看護③		講義		池末	
	10	急性・重症患者の看護①		講義 演習		宮崎	
	11	急性・重症患者の看護②		講義 演習		宮崎	
	12	急性期看護と倫理		講義 演習	看護における倫理を学修しておく	宮崎	
	13	急性期看護のアセスメント①		講義 演習	事例を用いて講義・演習を行う	宮崎	
	14	急性期看護のアセスメント②		講義 演習		宮崎	
	15	急性期看護のアセスメント③		講義 演習		宮崎	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 【医学書院】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	終講試験、受講態度、 課題レポート等で総合的に評価する						
学生へのメッセージ	グループワークや演習を行いながら、講義を進めていきます						

分野: 専門分野Ⅱ		科目: 成人看護学方法論Ⅲ		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	岩本 雅俊 田代 一章 宮崎 亜矢子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	手術を受ける成人の看護の特徴と援助方法を学ぶ。						
到達目標	1.手術を受ける対象の身体的・精神的侵襲を把握し、周手術期看護の知識と看護技術を理解する。 2.手術を受けることに伴う身体的・精神的・社会的影響を理解する						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	周手術期看護の概要	講義	講義前に教科書を読んでくる	岩本		
	2	外科的治療を支える分野	講義		岩本		
	3	術前の看護	講義		岩本		
	4	術中の看護	講義		田代		
	5	術後の看護	講義		岩本		
	6	術式別看護 術式が対象へ及ぼす影響①	講義		田代		
	7	術式別看護 術式が対象へ及ぼす影響②	講義		岩本		
	8	周手術期看護に必要な看護技術①	講義 演習	演習前には事前学習をしておく	岩本		
	9	周手術期看護に必要な看護技術②	講義 演習		田代		
	10	周手術期看護に必要な看護技術③	講義 演習		岩本		
	11	周手術期の看護過程の展開①	講義 演習	事例を用いて講義・演習を行う	宮崎		
	12	周手術期の看護過程の展開②	講義 演習		宮崎		
	13	周手術期の看護過程の展開③	講義 演習		宮崎		
	14	周手術期の看護実践演習①	講義 演習		宮崎		
	15	周手術期の看護実践演習②	講義 演習		宮崎		
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 【医学書院】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポート等で総合的に評価する						
学生へのメッセージ	グループワークや演習を行いながら、講義を進めていきます						

担当教員	山下 千里 松雪 友恵	成富 耕治	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	回復期の対象を理解し、障害の程度に応じた援助に必要な知識、技術、態度を学ぶ。 回復期の対象と家族の生活行動の再獲得、社会復帰を目指した看護を学ぶ。						
到達目標	1. リハビリテーションの意味と看護師の役割について理解する 2. 障害をもった対象の適応と社会復帰への看護を理解する 3. 回復過程にある対象を理解し、日常生活に必要な知識、技術を習得する						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	運動器系の障害とリハビリテーション看護①	講義	学習する 臓器別の解剖生理・疾病論の学習内容を復習 しまとめておく 運動器系の観察と評価 (ADL) (MMT) (ROM)についてヘルス アセスメントの学修内容を 復習しておく	山下		
	2	運動器系の障害とリハビリテーション看護②	講義		山下		
	3	運動器系の障害とリハビリテーション看護③	講義		山下		
	4	中枢神経系の障害とリハビリテーション①	講義 演習		成富		
	5	中枢神経系の障害とリハビリテーション②	講義 演習		成富		
	6	中枢神経系の障害とリハビリテーション③	講義 演習		成富		
	7	呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション①	講義 演習		成富		
	8	呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション②	講義 演習		成富		
	9	感覚器の障害のある患者の看護①	講義 演習		松雪		
	10	感覚器の障害のある患者の看護②	講義 演習		松雪		
	11	回復期の看護過程の展開①	講義 演習	事例を用いて講義・演習 を行う	松雪		
	12	回復期の看護過程の展開②	講義 演習		松雪		
	13	回復期の看護過程の展開③	講義 演習		松雪		
	14	回復期の看護実践演習①	講義 演習		松雪		
	15	回復期の看護実践演習 ②	講義 演習		松雪		
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器【医学書院】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	終了試験、受講態度、課題レポート等で総合的に評価する						
学生へのメッセージ	グループワークや演習を行いながら、講義を進めていきます						

分野:専門分野Ⅱ		科目:成人看護学方法論Ⅴ		【1単位: 30時間	授業回数: 15回	】
担当教員	一瀬 理加 下村 直子 松雪 友恵		年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	終末期の対象の身体的・精神的・社会的変化を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を学ぶ。 終末期にある対象と家族の持つ力を支える看護について学ぶ。					
到達目標	1. 終末期にある対象と家族の特徴と看護援助を理解する 2. 死生観について考える					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	終末期看護の概要 がん患者の看護	講義	解剖生理・疾病論の学修内容を復習し、まとめる	一瀬	
	2	がん治療に対する看護	講義		一瀬	
	3	がん治療の場と看護	講義		一瀬	
	4	女性生殖器疾患患者の看護	講義		一瀬	
	5	血液・造血器疾患患者の看護	講義		一瀬	
	6	緩和ケアの歴史と現状、チーム医療 緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援	講義	薬理学の疼痛コントロールに関する学修を復習し、まとめておく	下村	
	7	身体的ケア	講義		下村	
	8	緩和医療におけるスピリチュアルケア 精神的ケア、社会的ケア	講義		下村	
	9	臨死期の患者と家族のケア 「死の体験旅行」 緩和ケアを受ける患者の家族ケア	講義		下村	
	10	終末期看護と倫理①	講義 演習	看護における倫理の復習をしておく	松雪	
	11	終末期看護と倫理②	講義 演習		松雪	
	12	終末期看護と倫理③	講義 演習		松雪	
	13	終末期看護のアセスメント①	講義 演習	事例を用いて講義・演習を行う	松雪	
	14	終末期看護のアセスメント②	講義 演習		松雪	
	15	終末期看護のアセスメント③	講義 演習		松雪	
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 がん看護【医学書院】 系統看護学講座 別巻 緩和ケア【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器【医学書院】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	終了試験、出席状況及び受講態度、 課題レポート総合的に評価する					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野Ⅱ 科目: 老年看護学概論 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	真田 洋子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	老年者の身体的、精神的、社会的特徴を理解し、医療・保健・介護・福祉の現状、高齢者保健医療福祉対策、高齢社会における課題と対策等を学修する。				
到達目標	1. 老年者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな特徴を説明することができる 2. 老年者を取り巻く社会の動向を理解し保健医療福祉制度や施策を理解する 3. 生活を支えるという視点で老年看護の役割を理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	老いるということ 老いを生きるといこと 老年学の歴史と現状	講義 DVD視聴	身近に生活されている老年者と会話してくる	真田
	2	老年期とは 老年期の特徴	講義	テキストを読む	真田
	3	高齢者の発達理論と発達課題 高齢者とQOL	講義		真田
	4	高齢者の加齢に伴う変化① 喪失体験演習	講義		真田
	5	高齢社会の後継的輪郭 高齢社会と社会保障	講義		真田
	6	高齢者を支える制度 高齢者を支える社会資源	講義		真田
	7	高齢社会における権利擁護① 高齢者看護における倫理・概念	講義 演習		真田
	8	高齢社会における権利擁護② 差別・虐待・身体拘束 日常生活自立支援事業	演習		真田
	9	老年看護の理念 老年看護の目指すもの	演習		真田
	10	高齢者疑似体験①	講義 GW	高齢者の加齢に伴う変化を復習	真田
	11	高齢者疑似体験②	GW		真田
	12	高齢者疑似体験③	GW		真田
	13	高齢者疑似体験④	GW		真田
	14	高齢者と医療安全 高齢者と災害看護	講義	テキストを読む	真田
	15	高齢者の加齢に伴う変化②	発表		真田
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学 【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】				
主たる参考図書・文献	高齢者の健康と障害【メディカ出版】 公衆衛生が見える【MEDIC MEDIA】 老年看護学概論 老年保健【メヂカルフレンド社】				
評価方法	筆記試験80%、演習・レポート・授業態度20%				
学生へのメッセージ	高齢者の疑似体験をします。身近におられる高齢者の方とお話してみましょう				

分野: 専門分野Ⅱ		科目: 老年看護学方法論Ⅰ (老年者の日常生活の援助技術)		【1単位: 30時間		授業回数: 15回】	
担当教員	真田 洋子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	高齢者の生活や家族を理解したうえで、生活を営むために不可欠な生活行動(食生活、排泄、運動・休息、清潔、コミュニケーション)に着眼し、高齢者のもてる力を活用できるような老年看護に必要な技術を学修する。						
到達目標	1. 高齢者が営む生活状況を理解し、対象のもてる力を活用できる援助・関わりを理解することができる						
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当	
	1	生活を支える看護① 日常生活動作のアセスメントと看護		講義	座る、起きる、立つ、物を拾う、など 普段の生活を意識して考える	真田	
	2	生活を支える看護② 転倒のアセスメント 廃用症候群のアセスメント		講義 演習	テキストを読む	真田	
	3	廃用症候群予防の援助		講義 演習		真田	
	4	生活を支える看護③ 食生活と摂食障害のアセスメントと看護 口腔ケアの技法 義歯の着脱と手入れ方法		講義 演習	口腔の働き、嚥下のメカニズムを予習してくる	真田	
	5	口腔ケアと摂食障害援助の技法		演習	看護技術プラクティスを読む	真田	
	6	生活を支える看護④ 清潔のアセスメントと援助		講義	テキストを読む	真田	
	7	生活を支える看護⑤ 排泄と排泄パターンのアセスメントと援助		講義	排尿のメカニズムの予習	真田	
	8	排泄障害の援助1		演習	看護技術プラクティスを読む	真田	
	9	排泄障害の援助2		演習		真田	
	10	生活を支える看護⑥ 清潔の意義と皮膚機能の変化		講義	皮膚の機能について予習	真田	
	11	生活を支える看護⑦ 生活リズムと看護 衣生活の技法		講義 演習	テキストを読む	真田	
	12	生活リズムを整える看護		演習	看護技術プラクティスを読む	真田	
	13	コミュニケーションとコミュニケーション障害のアセスメントと援助		講義 演習	テキストを読む	真田	
	14	高齢者の社会参加		講義		真田	
	15	生活・療養の場における看護の展開		講義		真田	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学 【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 【医学書院】 看護技術プラクティス 【学研】						
主たる参考図書・文献	高齢者看護の実践 【メディカ出版】 看護根拠と事故防止から見た老年看護技術 【医学書院】						
評価方法	筆記試験80%、出席・態度・レポート20%						
学生へのメッセージ	老年期の患者さんにとって何をどこまで？どのように援助する必要があるのか考えましょう						

分野:専門分野Ⅱ		科目:老年看護学方法論Ⅱ (健康障害を持つ高齢者の看護)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】				
担当教員	堀下友行 真田 洋子		年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義	演習	
授業の概要	高齢者の健康障害の特徴と援助方法を学び、老年者に多い症状、状態に応じた看護、治療、処置を受ける高齢者の看護を学修する。 また、疾病の診断・状態像の評価をふまえた生活障害像をとらえ高齢者の苦悩・苦痛を理解する							
到達目標	1. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法、看護の方法を理解する 2. 認知症患者を理解し、ケアの意味と技法について説明できる 3. 検査、治療、処置を受ける高齢者、家族の理解を理解する							
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当		
	1	高齢者の生理的特徴		講義	テキストを 読む	真田		
	2	老年症候群①		講義		真田		
	3	老年症候群②		講義 演習		真田		
	4	高齢者のフィジカルアセスメント		講義 演習	フィジカルアセ スメントの復習	真田		
	5	高齢者の安全な薬物治療 高齢者のリハビリテーション		講義 演習	テキストを 読む	真田		
	6	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開①		講義 GW		堀下		
	7	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開②		講義 GW		堀下		
	8	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開③		講義 GW		堀下		
	9	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開④		講義 GW		堀下		
	10	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑤		講義		堀下		
	11	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑥		講義		堀下		
	12	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑦		講義		堀下		
	13	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑧		講義 演習		堀下		
	14	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑨		講義 GW		堀下		
	15	健康逸脱からの回復と終末期を支える 看護の展開⑩		講義 GW		堀下		
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学 【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 【医学書院】 看護技術プラクティス 【学研】							
主たる参考図書・文献								
評価方法	筆記試験、 演習・態度・レポート							
学生へのメッセージ	高齢者の健康障害の特徴を学ぼう。高齢者の苦悩・苦痛を理解しよう。							

分野: 専門分野Ⅱ 科目: 老年看護学方法論Ⅲ (看護過程の展開) 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】					
担当教員	真田 洋子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	加齢による老年者の特性や患者の個性、疾病の特性を理解し、老年者の心理・精神機能面への影響を考慮しながら、高齢者に多い疾患の事例で看護過程を展開し、援助方法を考え、看護実践につなげられるようにする。				
到達目標	事例で看護過程を展開することができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	老年看護学における看護過程とは テキスト事例: 誤嚥性肺炎	講義 演習	基礎看護で履修した看護過程の復習	真田
	2	事例紹介 加齢現象・健康障害および看護の視点 情報収集・アセスメントの視点	講義 演習	疾患・症状 検査・発達課題の復習	真田
	3	アセスメントを進め、関連図 記入 (全身状態のフィジカルアセスメント)	演習	疾患・症状 検査・発達課題の復習	真田
	4	看護診断 看護計画	演習	看護診断 看護計画 看護目標 具体的ケア	真田
	5	看護問題の優先順位の決定 看護目標の設定 具体策の立案	演習	看護診断 看護計画 看護目標 具体的ケア	真田
	6	看護診断 看護計画 看護問題の優先順位の決定 看護目標の設定 具体策の立案	自己学習 個別指導		真田
	7	看護診断 看護計画 看護問題の優先順位の決定 看護目標の設定 具体策の立案	自己学習 個別指導		真田
	8	まとめ	発表		真田
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学 【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断【NOUVELLE HIROKAWA】 生活機能からみた老年看護過程 第3版 【医学書院】				
評価方法	筆記試験50%、看護過程展開の取り組み状況・レポート・態度50%				
学生へのメッセージ	実習に向けて頑張りましょう				

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学概論 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	西 恵美子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現在の子どもと家族の概況や倫理的視点から小児看護の役割と課題を学ぶ。 小児の成長・発達の基本的な知識を学ぶ。現代の子どもを取り巻く社会環境を学ぶ。				
到達目標	1. 小児看護の特徴について理解する 2. 小児の成長・発達について理解する 3. 小児と小児を取り巻く環境について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	小児看護の特徴と理念 ・小児看護の目指すところ	講義 GW	(事前課題)子どもに関する ニュースに関心 を持ち、まとめて おく。	西
	2	・小児看護における倫理			
	3	家族の特徴とアセスメント ・子どもにとっての家族とは		事前課題をもと にグループでま とめ発表する	
	4	小児看護の特徴と理念 ・小児看護における倫理 ～子どもの権利～	講義 GW		西
	5	小児看護の特徴と理念 ・小児と家族の諸統計 ・小児看護の変遷 ・小児看護の課題 家族の特徴とアセスメント ・家族のアセスメント	講義 GW		西
	6	小児の成長発達 ・成長・発達とは ・成長・発達の進み方(一般的原則) ・成長・発達に影響する因子	講義		西
	7	小児の栄養	講義		西
	8	新生児の特徴	講義		西
	9	形態的特徴・身体生理の特徴① 乳児～青年期	講義		西
	10	形態的特徴・身体生理の特徴② 乳児～青年期	講義		西
	11	感覚機能・運動機能 乳児～青年期	講義		西
	12	知的機能・コミュニケーション機能 ・情緒社会的機能 ～エリクソン・ピアジェ～	講義	エリクソン・ピア ジェについては、 既習の講義 (心理学・精神) を復習しておく	西
	13	知的機能・コミュニケーション機能 ・情緒社会的機能	講義		西
	14	小児と家族を取り巻く社会 ・小児に関する関係法令	講義		西
	15	小児と家族を取り巻く社会 ・予防接種・学校保健	講義		西
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	国民衛生の動向				
評価方法	受講態度、グループワーク参加、小テスト、終講試験				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学方法論Ⅰ						【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	西 恵美子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	病気・障害を持つ子どもと家族の特徴と看護の役割を理解し、健康問題に応じた援助方法を学ぶ。								
学生の到達目標	1. 子どもの最良の健康状態を維持・増進するための援助を理解する 2. 小児看護に特有な看護技術について修得し、状況に応じた援助方法がわかる								
授業計画	回	授業内容		授業方法	事前学習等	担当			
	1	病気・障害を持つ小児と家族の看護① 子どもの反応・家族の反応・小児の健康問題と看護(情報の整理・解釈・看護)		講義 GW	課題:配布資料を読み、自分の考えをまとめておく グループで意見交換する	西			
	2	小児の状況(環境)に特徴づけられる看護 ～入院・外来・在宅～		講義		西			
	3	小児の状況(環境)に特徴づけられる看護 ～災害時における子どもへの支援～ ～障害のある子どもと家族～		講義 GW		西			
	4	小児期における疾病の経過と看護① ～慢性期・急性期～		講義 演習		西			
	5	小児期における疾病の経過と看護② ～周手術期～		講義		西			
	6	小児期における疾病の経過と看護 ③ ～周手術期～		講義		西			
	7	小児期における疾病の経過と看護 ④ ～終末期～		講義 DVD		西			
	8	小児のアセスメント① 症状を示す小児の看護		講義	子どもの権利と必要な看護行為(日本看護協会)を読んでおく	西			
	9	小児のアセスメント② 症状を示す小児の看護		演習 GW		西			
	10	小児のアセスメント③ 症状を示す小児の看護		演習 GW		西			
	11	小児のアセスメント④ 症状を示す小児の看護		演習 GW		西			
	12	検査・処置を受ける小児の看護 ～薬物動態と薬用量の決定、与薬、輸液管理～		講義	既習学習内容については、復習しておく	西			
	13	検査・処置を受ける小児の看護 ～抑制・検体採取・糞法～		講義		西			
	14	検査・処置を受ける小児の看護 ～清潔・経管栄養・排泄～		講義		西			
	15	検査・処置を受ける小児の看護 ～呼吸症状の緩和・救命処置～		講義		西			
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学 小児看護学概論 小児臨床看護総論【医学書院】								
主たる参考図書・文献	小児看護学 小児看護技術【メディカ出版】 系統看護学講座 別巻 臨床検査【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】								
評価方法	終講試験 受講態度								
学生へのメッセージ									

担当教員	武谷 茂		年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	小児疾患を身体系統別または病態別に構成し、各疾患の病態・症状・診断・治療について学ぶ					
到達目標	1. 小児の各疾患の病態・診断・治療について理解する 2. 現代の小児保健医療の課題について考えることができる					
授業計画	回	授業内容			事前学習	担 当
	1	「小児看護の特性」	G I O S B O	初期対応のしかたを理解する a. 初期印象診断の要領を説明できる b. 「不機嫌の原因さがし」ができる c. トリアージ看護の重要性を理解する	小児臨床看護 総論 第5章 342項	武谷
	2	「よくみる小児疾患」	G I O S B O	疾患の外見的特徴を認識する a. 印象診断できる疾患を列挙できる b. 「発熱」のパターン認識診断ができる	小児臨床看護 各論 第1～18章	武谷
	3	「ウイルス感染症」	G I O S B O	疾患の臨床像を認識する a. 疾患の重症化や合併症を説明できる b. 先天性および後天性免疫を説明できる c. ワクチンで予防できる疾患を列挙する	小児臨床看護 各論 第6章 142項	武谷
	4	「細菌感染症」	G I O S B O	疾患の臨床像を認識する a. 発疹症の鑑別診断ができる b. 細菌感染症の合併症を説明できる c. 予防接種の必要性を説明できる	小児臨床看護 各論 第6章 155項	武谷
	5	第1章 オリエンテーション				
	6	第2章 新生児				
	7	第3章 代謝性疾患				
	8	第4章 内分泌疾患				
	9	第5章 免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患				
	10	第6章 感染症				
	11	第7章 呼吸器疾患				
	12	第8章 循環器疾患				
	13	第9章 消化器疾患				
	14	第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患				
	15	まとめ				
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 小児臨床看護総論 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 小児臨床看護各論 【医学書院】					
主たる参考図書・文献	①言葉の向こうのコミュニケーション 患者の思い・心を読み取る 表情看護のすすめ【MCメディカ出版】 ②表情の描き方 【マイナビ出版】 ③ポーズ資料集 顔・頭 FACE／HEAD 【バイインターナショナル】 系統看護学講座 人体の構造と機能 解剖生理学 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2～15 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ がん看護学 【医学書院】					
学生のメッセージ	初講までに、主たる参考図書・文献①～③を読んでおいてください。					

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学方法論Ⅲ 【 1単位:15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	西 恵美子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	健康上の課題を持つ子どもとその家族に必要な援助方法を学ぶ 小児看護における看護の展開方法を学ぶ				
到達目標	1. 小児の発達段階を理解し、対象に合わせた援助方法がわかる 2. 小児と家族に必要な看護過程の展開ができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	小児の看護過程展開の考え方	講義	配布資料を読んで、必要な事前学習を考え、各自ノートにまとめておく	西
	2	事例をもとにした看護過程の展開 急性リンパ性白血病(情報の整理)	GW	事前学習・既習学習をもとに、情報の整理をする	西
	3	事例をもとにした看護過程の展開 急性リンパ性白血病(情報の解釈・統合)	GW		西
	4	事例をもとにした看護過程の展開 急性リンパ性白血病 全体像の考え方	発表 情報共有	全体像の発表準備	西
	5	事例をもとにした看護過程の展開 急性リンパ性白血病(看護計画の立案)	GW	次回事例の配布	西
	6	事例をもとにした看護過程の展開 喘息① (成長発達段階別視点・考え方)	個人ワーク GW	事例展開に必要な学習	西
	7	事例をもとにした看護過程の展開 喘息② (成長発達段階別視点・考え方)	個人ワーク GW		西
	8	小児の看護過程展開のまとめ	講義		西
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学② 小児臨床看護各論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	小児看護学 小児の発達と看護 【メディカ出版】				
評価方法	課題レポート				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅱ 科目:母性看護学概論					
【1単位:30時間 授業回数:15回】					
担当教員	平川 静江	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	母性・父性の概念と定義および母性の看護の目的と意義について学ぶ。 女性の健康および性と生殖の側面を女性のライフサイクルからとらえ、健康課題の把握と看護援助を 実践するのに必要な知識・技術・態度を習得する。				
到達目標	1. 母性をめぐるさまざまな定義を理解できる 2. 母性看護学における母性のとらえ方について理解できる。 3. 母性看護学の歴史と統計的指標からその変遷を理解できる。 4. 母性看護に関する組織や法律、母子保健対策の視点から、母性看護の現状を理解できる。 5. 生殖器の形態および機能について理解できる。 6. 母性看護における看護過程について理解できる。 7. 思春期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題及び看護について理解できる。 8. 成熟期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題及び看護について理解できる。 9. 更年期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題及び看護について理解できる。 10. 老年期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題及び看護について理解できる。 11. 貧困な国の母子保健の現状を理解し、諸問題について看護職者としての対応について理解を 深める。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	母性看護の基盤となる概念Ⅰ	講義		平川
	2	母性看護の基盤となる概念Ⅱ	講義		平川
	3	母性看護における倫理と安全・事故防止	講義 GW		平川
	4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義		平川
	5	母性看護における倫理（グループ発表）	講義		平川
	6	貧困な国の出産に関する現状（DVD鑑賞）	講義		平川
	7	母性看護の対象の理解①	講義		平川
	8	母性看護の対象の理解②	講義		平川
	9	母性看護に必要な看護技術	講義		平川
	10	女性のライフステージ各期における看護①	講義		平川
	11	女性のライフステージ各期における看護②	講義		平川
	12	妊娠期のマイナートラブルについて	講義 GW		平川
	13	まとめ	講義		平川
	14	妊娠期のマイナートラブルについて（発表）	講義		平川
	15	家族計画・性感染症予防・人工妊娠中絶と看護 喫煙女性の健康と看護	講義		平川
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	病気が見える・母性看護学・実践マタニティー診断				
評価方法	終講試験、レポート（終講試験80%・レポート10%・授業態度10%）				
学生へのメッセージ	教科書を事前学習として読んでおく。母性看護の基本となる講義です。				

分野: 専門分野Ⅱ 科目: 母性看護学方法論Ⅰ 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	森 真澄	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	妊娠,分娩期の対象の特性および家族を理解し、妊娠・分娩・新生児の特徴と援助方法を学ぶ。				
到達目標	1. 妊娠,分娩期の母体および胎児の身体的変化、心理・社会的特徴を理解できる 2. 妊娠,分娩期の対象に必要な健康管理方法や日常生活のあり方、看護の役割を理解できる 3. 妊娠,分娩期の対象の特徴を理解し、必要な看護技術を修得する 4. 新生児期の特徴を理解し、必要な看護援助を修得する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	妊娠期における看護 ① 妊娠期の身体的特徴	講義		森
	2	妊娠期における看護 ② 妊娠初期	講義		森
	3	妊娠期における看護 ③ 妊娠中期	講義		森
	4	妊娠期における看護 ④ 妊娠後期	講義		森
	5	妊娠期における看護 ⑤ ハイリスク妊娠	講義		森
	6	分娩期における看護 ① 分娩第1期	講義		森
	7	分娩期における看護 ② 分娩第2～4期	講義		森
	8	分娩期における看護 ③ 分娩期の異常	講義		森
	9	分娩期における看護 ④ 胎児心拍モニター	講義		森
	10	新生児期における看護 ①	講義		森
	11	新生児期における看護 ②	講義		森
	12	新生児期における看護 ③	講義		森
	13	新生児期における看護 ④	講義		森
	14	妊娠期フィジカルアセスメント	講義 演習		森
	15	新生児期フィジカルアセスメント	講義 演習		森
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 母性看護技術【メディカ出版】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論【医学書院】				
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポートなど総合的に評価				
学生へのメッセージ	体験学習を行います				

担当教員	齋藤 仲道 愛洲 紀子	井上 充	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	周産期における異常経過、ハイリスクな状態の母性・新生児の特徴を学ぶ。					
到達目標	1.周産期の対象と新生児の異常経過とハイリスク要因を理解できる					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	生殖の役割と機能 ジェンダー	講義		齋藤	
	2	遺伝と不妊	講義		齋藤	
	3	妊娠の異常 ①	講義		齋藤	
	4	妊娠の異常 ②	講義		齋藤	
	5	分娩の異常 ①	講義		井上	
	6	分娩の異常 ②	講義		井上	
	7	産褥の異常	講義		愛洲	
	8	新生児の異常	講義		井上	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論【医学書院】					
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器【医学書院】					
評価方法	終講試験、受講態度,課題レポートなど総合的に評価					
学生へのメッセージ						

分野:専門分野Ⅱ 科目:母性看護学方法論Ⅲ 【1単位:30時間 授業回数:15回】					
担当教員	森 真澄	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	産褥期の特性および家族を理解し、褥婦の特徴と援助方法を学ぶ。 周産期の看護の展開方法を学ぶ。				
到達目標	1. 産褥期の褥婦に必要な健康管理方法や日常生活のあり方、看護の役割を理解できる 2. 産褥期の褥婦の特徴を理解し、必要な看護技術を修得する 3. 周産期の看護過程が展開できる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	産褥期における看護 ① 身体的特徴	講義		森
	2	産褥期における看護 ② 退行性変化	講義		森
	3	産褥期における看護 ③ 進行性変化	講義		森
	4	産褥期における看護 ④ 産褥ケア	講義		森
	5	産褥期における看護 ⑤ 産褥期の異常	講義		森
	6	母乳育児と看護 ①	講義		森
	7	母乳育児と看護 ②	講義		森
	8	母性看護過程 ウェルネスの看護診断	講義		森
	9	事例展開 ① 妊娠期の看護過程	講義	事例展開に必要な学修	森
	10	事例展開 ② 分娩期の看護過程	講義		森
	11	事例展開 ③ 産褥期の看護過程 (正常分娩後の症例を展開)	講義		森
	12	事例展開 ④ 産褥期の看護過程	講義		森
	13	事例展開 ⑤ 産褥期の看護過程	講義		森
	14	事例展開 ⑥ 沐浴	演習	沐浴の 目的・手順	森
	15	事例展開 ⑦ 沐浴	演習		森
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 母性看護実践の基本【メディカ出版】 ウェルネスからみた母性看護過程【医学書院】 ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程【医歯薬出版】				
評価方法	終講試験、受講態度、レポートなど総合的に評価				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅱ 科目:精神看護学概論 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	中尾博美	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神の健康概念と健康問題をもつ対象を理解し、ケアの人間関係、看護の役割について学ぶ。				
到達目標	1. 精神看護の基本的概念を理解する 2. 精神看護の対象を理解する 3. 人間関係について学び看護をするものとしての自己理解を深める				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	精神看護学で学ぶこと	講義	精神看護の基礎精神看護学①	中尾
	2	精神保健の考え方①	講義 DVD		中尾
	3	精神保健の考え方②	講義		中尾
	4	人間の心のはたらきとパーソナリティ①	講義		中尾
	5	人間の心のはたらきとパーソナリティ②	講義		中尾
	6	関係の中の人間①	講義		中尾
	7	関係の中の人間②	講義		中尾
	8	社会の中の精神障害①精神障害と法制度	講義 DVD		中尾
	9	社会の中の精神障害②精神障害と法制度	講義		中尾
	10	ケアの人間関係①	講義 演習	精神看護の展開精神看護学②	中尾
	11	ケアの人間関係②	講義 演習		中尾
	12	ケアの人間関係③	講義 演習		中尾
	13	ケアの人間関係④	講義 演習		中尾
	14	学校・職場における精神保健と精神看護	講義		中尾
	15	リエゾン精神看護 看護師のメンタルヘルス まとめ	講義		中尾
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 【医学書院】 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 【日総研】 人間対人間の看護 J. トラベルビー 人間関係の看護論 E. ペプロウ 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験 レポート 授業態度などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野Ⅱ 科目: 精神看護学方法論Ⅰ 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	丸山 千春	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神障害者の処遇を歴史的に概観し、人権とノーマライゼーションについて学ぶ。また、現代社会における心の健康問題の本質と背景を社会病理の観点から捉え、精神保健福祉活動の必要性について理解する。				
到達目標	1. 精神保健の歴史・法制度を学び、精神保健福祉活動の必要性を理解する 2. ライフサイクルに伴う危機やストレスが精神の健康に及ぼす影響を理解する 3. 地域生活を実現するための支援を理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	精神保健福祉の歴史と課題	講義		丸山
	2	諸外国における精神保健福祉改革	講義		丸山
	3	精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術	講義		丸山
	4	精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術	講義		丸山
	5	地域移行支援・地域生活支援の基礎と展開	講義		丸山
	6	地域移行支援・地域生活支援の展開	講義		丸山
	7	特定の状況に対する精神保健福祉	講義		丸山
	8	まとめ 試験対策	講義		丸山
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人 【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験、課題、授業態度などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野Ⅱ 科目:精神看護学方法論Ⅱ 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	児玉 英嗣	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神障害の病態生理・検査・診断・治療を学び、対象の理解および精神看護の基盤とする。				
到達目標	1. 精神医療の歴史、法制度を理解する 2. 精神看護の基盤として、主な精神障害の病態・症状・診断・治療を理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	近年の精神疾患の特徴 精神科医療の歴史	講義	精神看護の 基礎 精神看護学①	児玉
	2	精神症状論 意識・知的・記憶障害	講義		児玉
	3	精神症状論Ⅱ 感情障害・思考障害	講義		児玉
	4	精神症状論Ⅱ 思考障害	講義		児玉
	5	精神疾患各論 統合失調症①	講義		児玉
	6	精神疾患各論 統合失調症②	講義		児玉
	7	精神疾患各論 感情障害の症状・治療	講義		児玉
	8	精神疾患各論 双極性障害の診断・治療	講義		児玉
	9	精神疾患各論 認知症の成因・分類・治療	講義		児玉
	10	各論 精神作用物質による障害 アルコール・薬物依存の症状	講義		児玉
	11	薬物依存の治療 てんかん分類・診断	講義		児玉
	12	神経症・ストレス性障害 診断・治療	講義		児玉
	13	解離性障害の診断・症状・治療 摂食障害の診断・症状・治療	講義		児玉
	14	精神科治療・薬物療法	講義		児玉
	15	精神科治療のまとめ	講義		児玉
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】				
評価方法	終講試験、課題、授業態度などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野Ⅱ 科目: 精神看護学方法論Ⅲ 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	中尾 博美	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	☒ 講義 ☐ 演習
授業の概要	精神健康上の問題をかかえた対象の理解と対象に応じた看護の役割を学ぶ				
到達目標	1. 精神健康上の問題をかかえた対象の理解とケアを理解する 2. 治療、処置時の看護を理解する 3. 地域における精神看護の概要を理解する 4. リエゾン精神看護について理解する 5. 事例を用い看護過程の展開ができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	精神科における看護の役割 回復を助ける	講義	精神看護の 展開精神看護学②	中尾
	2	精神科における看護の役割 回復を助ける・安全を守る	講義		中尾
	3	精神科における看護の役割 安全をまもる	講義		中尾
	4	身体をケアする	講義		中尾
	5	地域における精神保健と精神看護	講義		中尾
	6	主な精神症状・精神状態	講義	看護過程の 展開に必要な精神看護 学方法論Ⅱ の学修内容を復習して おく	中尾
	7	主な精神障害・症状の看護 ～統合失調症～	講義		中尾
	8	主な精神障害・症状の看護 ～気分障害～	講義		中尾
	9	主な精神障害・症状の看護～アルコール依存 症・摂食障害・パーソナリティ障害～	講義		中尾
	10	看護過程の展開①	講義		中尾
	11	看護過程の展開②	講義		中尾
	12	看護過程の展開③	講義		中尾
	13	看護過程の展開④	講義		中尾
	14	看護過程の展開⑤	講義		中尾
	15	まとめ	講義		中尾
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 【医学書院】				
評価方法	終講試験 課題 授業態度などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ					

統合分野

分野: 統合分野 科目: 在宅看護概論 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	池田 敦子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	在宅看護の対象とその家族の特徴を知り、在宅看護の役割を学ぶ。 訪問看護師の役割とケアマネジメントの実際を学ぶ。				
到達目標	1. 在宅看護を取り巻く現状から、在宅看護の目的を理解する 2. 対象者の在宅療養を支える職種・チームを理解し、協働について理解する 3. 訪問看護師としての役割と機能を説明することができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域看護と在宅看護 地域看護における在宅看護の位置づけ 在宅看護を学ぶ意義	講義		池田
	2	在宅看護の変遷と社会的背景 公衆衛生看護	講義 GW		池田
	3	在宅ケアニーズの動向 在宅看護に関わる現状 地域連携システム(継続的な医療提供に おける看護師の役割)	講義	国民衛生の 動向	池田
	4	対象者の特徴 高齢療養者 小児療養者 難病療養者 精神疾患療養者 家族(家族システム理論)	講義		池田
	5	訪問看護のしくみ 医療保険と介護保険	講義		池田
	6	訪問看護の特徴 訪問看護制度・実施機関 訪問看護師における看護職の役割 訪問看護に関わる現状や諸問題	講義		池田
	7	地域包括ケアシステム 地域包括支援センター 地域ケア会議	講義		池田
	8	在宅療養者の権利保障と在宅看護の倫理 権利擁護 (日常生活自立支援事業・成年後見制度) 個人情報の管理	講義	最近のニュー スの中から、 虐待や成年 後見に関連し たものを調べ てくる	池田
使用テキスト等	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】				
主たる参考図書・文献	ヌーベルヒロカワ、ナーシンググラフィカ、メディカルフレンド				
評価方法	終講試験、受講状況、課題レポートなど総合的に評価する。				
学生へのメッセージ					

分野:統合分野		科目:在宅看護方法論Ⅰ		【 2単位: 45時間		授業回数: 23回 】	
担当教員	池田 敦子		年次・ 開講時期	2年 前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	在宅療養者とその家族を支える日常生活援助の特徴とその方法を学ぶ。						
到達目標	1. 在宅看護活動における好ましいコミュニケーション方法を修得する 2. 対象者の障害に応じた援助方法を修得する 3. 在宅ケアにおける安全を理解する						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	備考		
	1	初回訪問の面接技術 訪問時の態度、面接技術	講義 DVD	基礎看護学の 援助を復習			
	2	初回訪問の面接技術 観察ポイント・必要物品、移動・運動(安全の確保と 自立への援助)	講義 演習	グループ別で 計画立案 介護保険につ いて文献等で 調べておく			
	3	初回訪問ロールプレイと評価(8G×10分) ロールプレイ10分 評価2分	演習				
	4	介護保険:申請、要介護認定、自立支援事業	講義				
	5	介護保険:介護支援専門員のケアマネジメント 介護サービスの内容	講義				
	6	障害者総合支援法 認定区分、障害福祉サービス、ケアマネジメント	講義				
	7	社会資源と多職種連携 フォーマルとインフォーマル	講義				
	8	食事援助技術: 摂取能力の判断と食事内容、摂取方法の工夫、 口腔ケア	講義	基礎看護技 術、各看護学 の援助技術の 復習			
	9	清潔援助:自宅での入浴介助、清拭、洗髪	講義	福祉用具につ いて			
	10	福祉用具と住環境	見学		外部授業		
	11	排泄援助技術:排泄障害のある人への自立援助 移動・移乗援助技術	講義 DVD				
	12	日常生活援助技術:清潔援助(入浴)	演習	在宅で起こり やすいリスク を調べておく			
	13	日常生活援助技術:整容(爪きり)、リハビリテーション	演習				
	14	在宅医療を支える医療機器	見学	医療機器につ いて	外部授業		
	15	安全管理(緊急時の対応、事故防止)	講義・GW				
	16	継続訪問のロールプレイ(日常生活援助) シナリオ作成	講義 演習	自宅にある物 品を使い、日 常生活援助用 具を作成し実 践する			
	17	継続訪問のロールプレイ(日常生活援助)	演習				
	18	継続訪問のロールプレイ(日常生活援助)	演習				
	19	継続訪問のロールプレイのまとめ 在宅における医療管理、感染・事故防止対策	講義 DVD				
	20	在宅療養者の医療管理 在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法	講義	それぞれの病 棟での医療管 理について事 前学修してお く			
	21	在宅療養者の医療管理 在宅経管栄養・経腸栄養法 在宅中心静脈栄養法、在宅持続皮下注射	講義 DVD				
	22	在宅療養者の医療管理 在宅褥瘡管理、膀胱留置カテーテル法、 腎ろう・膀胱ろう・ウロストミー・人工肛門	講義 DVD				
	23	在宅療養者の医療管理 服薬管理、腹膜透析 災害対策	講義				
使用テキスト等		系統看護学講座 統合分野 在宅看護論【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】					
主たる参考図書・文献							
評価方法		終講試験、出席状況 課題レポートなど総合的に評価する。					
学生へのメッセージ							

分野:統合分野						科目:在宅看護方法論Ⅱ		【 1単位: 30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員		池田 敦子		年次・ 開講時期		2年後期		授業形態		講義 演習	
授業の概要		在宅看護介入時期別の特徴を理解し、訪問看護の実践に向けた看護展開方法を学ぶ。									
到達目標		1. 在宅看護介入時期別の特徴が理解できる 2. 疾病や障害を持つ療養者と家族を理解し、QOL向上のための看護技術を修得する									
授業計画		回	授業内容			授業方法		事前学習等		担当	
		1	在宅療養者の看護① 脳血管疾患の療養者の看護			講義 DVD		退院に向けた必要な準備とは？		池田	
		2	在宅療養者の看護② 難病による療養者の看護			講義				池田	
		3	在宅療養者の看護③ 認知症高齢者の看護、独居高齢者の看護			講義		認知症について		池田	
		4	在宅療養者の看護④ 小児の看護			講義				池田	
		5	在宅療養者の看護⑤ 精神疾患療養者の看護			講義				池田	
		6	在宅療養者の看護⑥ 終末期の看護(在宅での看取り) グリーフケア			講義				池田	
		7	在宅看護のアセスメン アセスメントに必要な情報とは			講義				池田	
		8	在宅看護のアセスメント① 必要な情報収集内容、優先度			GW				池田	
		9	在宅看護のアセスメント②			G発表				池田	
		10	在宅看護の事例展開① :ALS 情報収集(身体的、精神的、社会的、スピリ チュアル的) 療養者と家族が望む生活			個人ワーク		患者情報を 読み込み、 基本情報・ アセスメント シートに記 入		池田	
		11	在宅看護の事例展開② アセスメント			個人ワーク				池田	
		12	在宅看護の事例展開③ 関連図、課題の整理、優先度			個人ワーク				池田	
		13	在宅看護の事例展開④ 看護の優先度・目標・具体的計画			GW				池田	
		14	在宅看護の事例展開⑤ グループ発表、発表まとめ 計画の評価(満足度、修正)			G発表 講義				池田	
		15	在宅看護の倫理、在宅看護の課題			講義				池田	
使用テキスト等		系統看護学講座 統合分野 在宅看護論【医学書院】 国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】									
主たる参考図書・文献											
評価方法		終講試験、受講態度、課題レポートなど総合的に評価する。									
学生へのメッセージ											

分野: 統合分野 科目: 看護管理 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】					
担当教員	佐藤 和美 田中 圭子 塚本 珠文	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	☒ 講義 演習
授業の概要	チーム医療及び他職種との協働・連携、看護師としてのメンバーシップ・リーダーシップを理解する。組織運営に必要な知識を学ぶことで看護のチームや組織・システムをマネジメントできる基礎的能力を養う。				
到達目標	1. 質の高い看護を提供するための看護サービスの管理システムについて説明できる 2. 保健医療福祉チームにおける看護の責任と役割について説明できる 3. 目標達成のためのリーダーシップと”ひと”のマネジメントの重要性について述べられる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護とマネジメント マネジメントとは、看護管理とは、管理の歴史	講義		佐藤
	2	看護を取り巻く諸制度 看護管理の実際	講義		塚本
	3	看護サービスのマネジメント① 看護サービス提供の仕組み	講義		田中
	4	看護ケアのマネジメント① 看護サービスのマネジメント	講義		佐藤
	5	看護ケアのマネジメント② 倫理、患者の権利とIC	講義 GW		佐藤
	6	看護サービスのマネジメント② チーム医療における看護職の責任と役割	講義 GW		佐藤
	7	マネジメントに必要な知識と技術①	講義		佐藤
	8	マネジメントに必要な知識と技術②	講義		佐藤
使用テキスト等	系統看護学講座 統合分野 看護管理 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験 演習 レポート				
学生へのメッセージ	看護の統合と実践実習へ連携するので、実習目的など理解したうえで授業を受けること				

分野: 統合分野 科目: 医療安全 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	下 河 昇 一 松 雪 友 恵	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	☐ 講義 ☐ 演習
授業の概要	医療安全の背景や経緯を学び、安全管理の仕組みや医療事故対策の基本を学ぶことで専門職業人としての基盤をつくる。 事例を通して事故の発生要因や防止対策について学び、危険を予防し、回避する能力を養う。				
到達目標	1. 事故防止の対策を述べることができる 2. 事例を通してインシデント・レポートの分析ができる 3. 組織で取り組む必要性を理解できる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	実習中のヒヤリハット	講義 GW		松雪
	2	医療安全を学ぶことの大切さ①	講義		松雪
	3	医療安全を学ぶことの大切さ②	講義		松雪
	4	医療事故防止の考え方を学ぶ①	講義		松雪
	5	医療事故防止の考え方を学ぶ②	講義		松雪
	6	診療の補助業務に伴う事故防止 I	講義 GW		下河
	7	事故防止(注射業務、輸血業務) インシデント・レポート	演習		下河
	8	診療の補助業務に伴う事故防止 II	講義 GW		下河
	9	事故防止(内服と薬業務、経管栄養業務、 チューブ管理) インシデント・レポート	演習		下河
	10	療養上の世話における事故防止	講義 GW		下河
	11	事故防止(転倒・転落、誤嚥、etc) インシデント・レポート	演習		下河
	12	業務領域をこえて共通する間違いと発生要因	講義		下河
	13	医療安全とコミュニケーション①	講義		下河
	14	医療安全とコミュニケーション②	演習		下河
	15	組織的な安全管理体制への取り組みと わが国の医療安全対策	講義		下河
使用テキスト等	系統看護学講座 統合分野 医療安全 【医学書院】 医療安全ワークブック 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験 演習 レポート				
学生へのメッセージ	看護の統合と実践実習へ連携するので、実習目的など理解したうえで授業を受けること				

分野: 統合分野 科目: 災害看護学・国際看護学 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	山崎 宏美 松雪 友恵	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	災害直後から支援できる看護の役割について理解する。 国際社会において、広い視野に基づき看護師として活動できる基本を学ぶ。				
到達目標	1. 災害看護について説明できる 2. 諸外国の歴史、文化、政治、経済、社会システムを理解する 3. 国際化・多文化化に対応し看護活動できる思考を養う				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	災害看護・国際看護を学ぶにあたって	講義		松雪
	2	災害看護の歩み 災害医療の基礎知識①	講義		松雪
	3	災害医療の基礎知識②	講義		松雪
	4	災害看護の基礎知識 災害看護の定義と役割・災害看護の対象	講義		松雪
	5	災害時に起こる健康障害	講義		山崎
	6	災害サイクルに応じた災害看護	講義		山崎
	7	災害対応に関わる職種間・組織間連携/災害と法律	講義		山崎
	8	災害とこころのケア・救援者の心構え	講義		山崎
	9	グローバリゼーション、国際看護学とは①	講義		
	10	グローバリゼーション、国際看護学とは②	講義		
	11	開発と健康	講義		
	12	保健医療の国際協力 (仕組みと諸機関)	講義		
	13	21世紀の看護職として国際的に活動する①	講義 GW		松雪
	14	21世紀の看護職として国際的に活動する②	講義 GW		松雪
	15	まとめ	講義		松雪
使用テキスト等	医学書院 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験 演習 レポート				
学生へのメッセージ	国際的な視野を広げよう！！				

分野:統合分野		科目:看護研究Ⅱ		【 1単位: 15時間		授業回数: 8回		】					
担当教員		森 由紀 一ノ瀬 美津子		年次・ 開講時期		3年全期		授業形態		講義		演習	
授業の概要		研究計画書を作成し、それに基づき研究を行い論文としてまとめる 研究過程を主体的に取り組み、研究的態度を学ぶ											
到達目標		1. 研究課題を明らかにする 2. 研究課題を絞り込み、研究目的を明らかにする 3. 研究計画書をたてる 4. データーを収集し、分析を行う 5. 事例のまとめ方を理解する 6. 論文及び抄録を作成し、口頭発表を行う											
授業計画		回		授業内容				授業方法		事前学習等		担当	
		1		質的アプローチのしかた 事例研究の進め方				講義				森	
		2		研究課題 研究計画書・文献検索				講義				森	
		3		研究の実際				講義 演習				森	
		4		論文の作成				演習				一ノ瀬	
		5		論文の作成				演習				一ノ瀬	
		6		論文の作成				演習				一ノ瀬	
		7		論文の作成				演習				一ノ瀬	
		8		研究発表				発表				一ノ瀬	
使用テキスト等		『黒田裕子の看護研究step by step第5版』 【学研】											
主たる参考図書・文献		情報リテラシー 【日経BP社】											
評価方法		論文作成に取り組む姿勢と発表会への参加度・事例研究提出											
学生へのメッセージ													

分野:統合分野 科目:統合看護技術 【 1単位:15時間 授業回数:8回 】					
担当教員	松雪 友恵 西 恵美子	年次・ 開講時期	3年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	実務に即した実習(看護の統合と実践実習)で学んだ、管理・倫理、医療安全などを基に、自己の看護実践能力を振り返り、臨床において新人看護師としての業務への適応がより円滑におこなえるよう、総合演習を行い自己の課題を明確にする。				
到達目標	1. 申し送りをもとに複数患者の状態を観察し、把握できる 2. 患者の病床環境を確認し、準備ができる 3. シミュレーションを振り返り、自己の課題がわかる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	統合実習のまとめ 実習グループでまとめ発表 ・シミュレーショングループ提示 ・課題の提示	GW (実習G)	統合実習 ファイル (準備できる者)	松雪 西
	2	実習の学びと思考の統合 国家試験問題を用いたグループワーク	GW (シミュレーションG)	課題の確認	松雪 西
	3	シミュレーションオリエンテーション ・事例紹介 シミュレーション準備	演習 GW	演習準備	松雪 西
	4	シミュレーション準備 ・グループ学修	演習 GW		松雪 西
	5	シミュレーション	演習		松雪 西
	6	シミュレーション	演習		松雪 西
	7	シミュレーションの振り返り ・グループ学修	GW		松雪 西
	8	まとめ			松雪 西
使用テキスト等	規定なし				
主たる参考図書・文献	規定なし				
評価方法	出席状況・態度・シミュレーション・レポートにて総合評価				
学生へのメッセージ	いよいよ最終技術のチェック…自らの課題を見出そう！				